

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 国語

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
東書	・新出漢字は脚注や教材末に示してあり,資料編に部首,画数,筆順,用例の一覧がある。	・学習活動の手順を「てびき」に示し,見通しと振り返りを明示している。学習のポイントは「言葉の力」として困んで示している。また,生徒が言葉に着目し,語彙を豊かにするよう,「広がる言葉」を示している。(第1学年「少年の日の思い出」P.190-P.205)	・巻頭の「領域別教材一覧」で,生徒が一年間の学習の見通しをもち,身に付ける「言葉の力」を確かめることができるようになっている。	・最初に古典を扱う単元は,「伝統文化に親しむ」であり,「移り行く浦島太郎の物語」「伊曾保物語」「竹取物語」「矛盾」により構成している。(第1学年「伝統文化に親しむ」P.139-159)	・折り込みのカラーページは,第2学年では「未来への扉」,「デジタルコンテンツの使い方」,「平家物語」,「デジタルコンテンツ一覧」,「主なデジタルコンテンツ」を掲載し,教科書の活用に係ることや古典に関する内容に割いている。(第2学年「未来への扉」P.9-P.10)
	・文法は,「文法の窓」と「文法解説」で構成している。(第1学年「文法の窓」P.38,第1学年「文法解説」P.230)	・教科書全体を通して「未来を考えるための9つのテーマ」を設定し,巻頭見開きページに示している。具体的には,「平和・国際理解,地球環境,伝統と文化,多様性,情報社会,安全・防災,科学と研究,学校・社会,自己と他者」といった現代的諸課題をテーマとして示している。(第3学年「国際社会と私たち」P.214-P.221)	・教材冒頭の吹き出しによる「問いかけ」において,話し言葉で課題を分かりやすく示し,教材末の「てびき」で学習目標と振り返りを配置し,振り返りは学んだことを自分の言葉でまとめるように示している。(第1学年P.16-P.24)	・第2学年で短歌を扱う単元は,「言葉を感じる」であり,「短歌を楽しむ」「短歌五首」「短歌の創作」により構成している。(第2学年「1 言葉を感じる」P.20-P.27)	・読書案内は,テーマを設けて示しており,表紙写真,著者名,紹介文,「私のおすすめ」及び二次元コードにより構成され,読書会等の活動も示している。(第3学年「読書案内 世界を広げる本」P.78)
	・学習の流れを「てびき」に示し,ポイントを「言葉の力」に示している。(第1学年「てびき」,「言葉の力」P.32)	・「話し合い」の学習が深まるよう,「合意形成の仕方」について学ぶとともに,身に付ける「言葉の力」を示し,テーマの例,提案を出し合った例,提案を整理した例等,多様な例を掲載している。(第3学年「合意形成を目指す話し合い」P.204-P.208)	・生徒が主体的に学習できるように,この教科書での学び方を「教科書の使い方」で示している。(第2学年「教科書の使い方」P.13-P.14)	・第3学年で扱う近代文学(全文が掲載されるもの)は,本編で「形」(菊池寛),「初恋」(島崎藤村),「レモン哀歌」(高村光太郎)があり,また,資料編に「最後の一句」(森鴎外)が掲載されている。(第3学年「形」P.34-P.41)	・各教材のページや巻末の「デジタルコンテンツ一覧」に示された二次元コードを,学習用端末で読み取り,動画や資料等のデジタルコンテンツを利用することができる。(第1学年「グループディスカッション(話し合いの例)」P.210)(第1学年「デジタルコンテンツ一覧」P.297-P.298)
	・学習目標を教材ごとに「見通す」に示し,身に付ける言葉の力を「領域別 教材一覧」にまとめている。(第3学年「見通す」P.24,第3学年「領域別 教材一覧」P.6)	・生徒が既習事項を振り返ったり,今後の学習の見通しをもったりするため,巻頭の「領域別教材一覧」が示されている。巻末には中学校の3年間の学習を見通したり振り返ったりすることができる『「言葉の力」一覧』がある。	・課題解決的な言語活動をそろえ,協働的な学びの場面を数多く示している。(第2学年「リンクマップによる話し合い」P.207-P.211)	・教科横断的な学習教材を各学年に配列し,教科関連マークで関連を示すとともに,関連のある教科名が記載されている。(第1学年「活字と書き文字・画数・筆順」P.36)	・ユニバーサルデザインに関する配慮として,色づかいや表示の仕方を工夫する等のカラーユニバーサルデザインを進めるとともに,特別なフォントを使用している。

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 国語

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
三省堂	・新出漢字は脚注と教材末に示してあり,資料編に部首,画数,筆順,用例の一覧がある。	・学習活動の手順を「学びの道しるべ」に示している。下段には「思考の方法」を示している。また生徒が言葉に着目し,語彙を豊かにするよう,「語彙を豊かに」を示している。読み方のポイントを「読み方を学ぼう」として示している。(第1学年「少年の日の思い出」P.206-P.220)	・「領域別教材一覧」に示した「つきたい力」や言語活動を確認することで,見通しをもち,主体的に学習を進めることができるようになっている。	・最初に古典を扱う単元は,「古典に学ぶ」であり,「月を思う心」「竹取物語」「故事成語—矛盾」により構成している。(第1学年「古典に学ぶ」P.116-P.139)	・折り込みのカラーページは,第2学年では『「思考の方法」—一覧』,「読み方を学ぼう②説明文の論理展開」,第1・2学年全ての「読み方を学ぼう」を一覧で掲載しており,教科書の活用に係ることに割いている。(第2学年「思考の方法一覧」P.17-P.20)
	・文法は,「文法の窓」と「文法のまとめ」で構成している。(第1学年「文法の窓」P.79,第1学年「文法のまとめ」P.230)	・さまざまな価値観が並立するグローバル社会,共生社会の一員として求められる幅広い資質・能力を育成できるよう,題材を選定し,単元を構成している。(第3学年「フロン規制の物語」P.100-P.109)	・各教材冒頭に「つきたい力」として学習目標を明示し,教材末で目標を再確認しながら,学びを自分の言葉で振り返るように示している。(第1学年P.34-P.35)	・第2学年で短歌を扱う単元は,「ものの見方・感性を養う」であり,(「短歌の世界」「短歌十首」「短歌・俳句 表現の仕方を工夫して豊かに表す」)により構成している。(第2学年「ものの見方・感性を養う」P.64-P.78)	・読書案内は,テーマを設けて示しており,表紙写真,著者名,紹介文及び二次元コードにより構成されている。(第3学年「読書の広場 小さな図書館」P.244)
	・学習の流れとポイントを「学びの道しるべ」に示している。(第1学年「学びの道しるべ」P.34)	・「話し合い」の学習のポイントとして,「話し合いのこつと発言例」を示している。(第3学年「合意形成に向けて話し合いを計画的に進める」P.46-P.49)	・生徒が主体的に学習できるように,この教科書での学び方を「確かな言葉の力をつけるために」で示している。(第2学年「確かな言葉の力をつけるために」P.12-P.15)	・第3学年で扱う近代文学(全文が掲載されるもの)は,本編で「初恋」(島崎藤村),冒頭部分が掲載されるものに「坊ちゃん」(夏目漱石)があり,また,資料編に「高瀬舟」(森鷗外)が掲載されている。(第3学年「初恋」P.166-P.169)	・各教材のページや巻末の「二次元コード参照先コンテンツ一覧」に示された2次元コードを,学習用端末で読み取り,動画や資料等のデジタルコンテンツを利用することができる。(第1学年「グループディスカッション」P.37)(第1学年「二次元コード参照先コンテンツ一覧」P.358-P.359)
	・学習目標を教材ごとに「目標」に示し,つきたい力を「領域別教材一覧」にまとめている。(第3学年「目標」P.22,第3学年「領域別教材一覧」P.6)	・生徒が既習事項を振り返ったり,今後の学習の見通しをもったりするため,巻頭に「領域別教材一覧」が示されている。巻末には中学校3年間の読むことの学習を見通したり振り返ったりすることができる『「読み方を学ぼう」一覧』がある。	・日常生活や現代社会における課題を取り上げ,対話を通して考えたり問題を解決したりする機会と場を設定している。(第3学年「グループディスカッション」P.46-P.49)	・関連のある教材について,「生かそう」の中で,他教科等との関連を示している。(第1学年「レポート調べたことを整理してわかりやすくまとめる」P.63)	・ユニバーサルデザインに関する配慮として,色づかいや表示の仕方を工夫する等のカラーユニバーサルデザインを進めるとともに,特別なフォントを使用している。

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 国語

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
教出	・新出漢字は脚注と教材末に示してあり,「学びの自習室」に部首,総画数,筆順,用例の一覧がある。(第1学年P.33)	・教材の前に「学びナビ」を示している。教材の後に学習活動の手順「みちるべ」を示している。「みちるべ」の中に,生徒が言葉に着目するよう,「言葉・情報」を示している。(第1学年「少年の日の思い出」P.246-P.262)	・巻頭に「言葉の地図」という領域一覧を掲載し,学ぶ内容と身に付けたい言葉の力を把握し,学習の見通しをもつことができるようになっている。	・最初に古典を扱う単元は,「古典にふれる」であり,「昔話と古典」箱に入った桃太郎,「物語のはじまり」竹取物語,「故事成語—中国の名言」により構成している。(第1学年「古典にふれる」P.114-133)	・折り込みのカラーページは無いが,巻末の見開きのカラーページにおいて,第2学年は「『ふるさと』を巡る ～文学にゆかりのある風景～」として,文学作品にゆかりのある地名と風景写真を掲載している。(第2学年「『ふるさと』を巡る」巻末P.4-P.5)
	・文法は「文法の小窓」とその解説である「文法(解説)」で構成している。(第1学年「文法の小窓」P.30,第1学年「文法(解説)」P.278)	・未来の社会の担い手となる中学生が,現在,あるいは将来に向き合うSDGsを踏まえた現代的な課題を取り上げている。(第3学年「持続可能な未来を創るために—人間の生命・存在を考える」P.222-P.231)	・教材文や活動の前に学習の目標や学習の方法を示す「学びのナビ」をおき,読み方や読む観点を明確にし,内容を把握するための方法を学ぶようになっている。教材末には,「みちるべ」をおき,振り返りを評価の観点チェックの形式で示している。(第1学年「自分の脳を知っていますか」P.36-P.44)	・第2学年で短歌を扱う教材は,「短歌の味わい」であり,「短歌の味わい」,「短歌十首」,「少しだけ変えてみる」により構成している。(第2学年「短歌の味わい」P.166-P.173)	・読書案内は,表紙写真,著者名,紹介文及び二次元コードにより構成されている。(第3学年「広がる本の世界 学びを深める読書案内」P.47)
	・学習の流れとポイントを「みちるべ」に示している。(第1学年「みちるべ」P.44)	・「話し合い」の学習のポイントとして,「学びナビ」を示し,振り返りのチェックリストを掲載している。(第3学年「意見を共有しながら話し合う」P.237-P.239)	・生徒が主体的に学習できるように,この教科書での学び方を「言葉の地図」で示している。(第2学年「言葉の地図」P.6-P.9)	・第3学年で扱う近代文学(全文が掲載されるもの)は,本編に「最後の一句」(森鷗外),「初恋」(島崎藤村)が掲載されている。(第3学年「最後の一句」P.142-161)	・各教材のページや巻頭の「まなびリンク」に示された二次元コードを,学習用端末で読み取り,動画や資料等のデジタルコンテンツを利用することができる。(第1学年「発言を結び付けて話し合う」P.231)(第1学年「まなびリンク」P.14)
	・学習目標を教材ごとの初めに示し,学ぶ内容と身に付けたい言葉の力を「言葉の地図」にまとめている。(第3学年「言葉の地図」P.10)	・生徒が今後の学習の見通しをもてるよう,第1学年間で学ぶ内容と身に付けたい言葉の力(領域別教材一覧)を「言葉の地図」として示している。また,「言葉の地図」に「『学びナビ』一覧」を示している。	・多様かつ今日的な課題を取り上げた教材を設定し,自らの言葉で考え,表現し,他者と交流して協働的に課題を解決する力を身に付けるように設定している。(第3学年「構成を明確にして説明文を書く」P.117-P.119,第3学年「意見を共有しながら話し合う」P.237-P.239)	・関連のある教材について,「学びを生かす」の中で,他教科や日常的な表現活動との関連を示している。(第1学年P.47)	・ユニバーサルデザインに関する配慮として,色づかいや表示の仕方を工夫する等のカラーユニバーサルデザインを進めるとともに,特別なフォントを使用している。

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 国語

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
光村	・新出漢字は脚注と教材末に示してあり、資料編に部首、総画数、筆順、用例の一覧がある。(第1学年P.22)	・学習活動の手順を「学びへの扉」として示し、見通しと振り返りを明示している。学習のポイントは「学びのカギ」として示している。また、「言の葉ポケット」として言葉に着目し、語彙を豊かにするための手立てがある。(第1学年「少年の日の思い出」P.206-P.221)	・巻頭の「学習の見通しをもとう」では、1年間でどんな学習をし、どんな力を身に付けるかを見通すことができるようになっている。	・最初に古典を扱う単元は、「いにしえの心にふれる」であり、「古典の世界」「音読を楽しむ いろは歌」「蓬萊の玉の枝—『竹取物語』から」「今に生きる言葉」により構成している。(第1学年「いにしえの心にふれる」P.152-P.174)	・折り込みのカラーページは第2学年では「学習の見通しをもとう」「思考の地図」「平家物語」「ルネサンス期に活躍した芸術家の代表作」を掲載しており、教科書の活用に係ること、古典や教材に関する内容に割いている。(第2学年「学習の見通しをもとう」P.6-P.8)
	・文法は、「文法への扉」と「文法1～3」で構成している。(第1学年「文法への扉」P.75、第1学年「文法1」P.242)	・キャリア教育に関連した内容やSDGsを扱った教材などを掲載している。「学習に見通しをもとう」では、SDGsの項目との関連を示している。(第3学年「情報×SDGs」P.76-P.83)	・教材冒頭に学習目標が示され、教材末には、「学びへの扉」を示し、学んだことや理解したことを自分で評価の観点に沿ってチェックできるようになっている。(第1学年「はじまりの風」P.22-P.29)	・第2学年で短歌を扱う単元は、「言葉と向き合う」であり、「短歌に親しむ」「短歌の創作教室」「短歌を味わう」により構成している。(第2学年「言葉と向き合う」P.62-P.68)	・読書案内は、表紙写真、著者名、紹介文及び「私の一冊」により構成され、「私のおすすめ」を記入する欄や読書に関するコラムが掲載されている。(第3学年「読書案内 本の世界を広げよう」P.94-P.97)
	・学習の流れを「学びへの扉」に示し、ポイントを「学びのカギ」に示している。(第1学年「学びへの扉」P.28)	・「話し合い」の学習のポイントとして、「学びのカギ」を示し、振り返りのチェックリストを「振り返る」に掲載している。(第3学年「合意形成に向けて話し合おう」P.186-P.189)	・生徒が主体的に学習できるように、この教科書での学び方を「主体的な学びのために」で示している。(第2学年「主体的な学びのために」P.12-P.13)	・第3学年で扱う近代文学(全文が掲載されるもの)は、本編で「初恋」(島崎藤村)、資料編に「高瀬舟」(森鷗外)が掲載されている。(第3学年「初恋」P.142-P.143)	・各教材のページや巻末の「二次元コード一覧」に示された二次元コードを学習用端末で読み取り、動画や資料等のデジタルコンテンツを利用することができる。(第1学年「グループで話し合う」P.194)(第1学年「二次元コード一覧」P.340)
	・学習目標を教材ごとの初めに示し、学ぶ内容と身に付けたい力を「学習の見通しをもとう」にまとめている。(第3学年P.16、第3学年「学習の見通しをもとう」P.6)	・生徒が今後の学習の見通しをもてるよう、領域別教材一覧を「学習の見通しをもとう」で示している。また、巻末には、教科書で学習する主な用語を、領域ごとに五十音順にまとめた「学習のための用語一覧」がある。	・社会の問題を自分のこととして捉え、解決を目指すようにしている。言葉で思考し、協働して挑む設定になっている。(第1学年「情報収集の達人になろう」P.79-P.83)	・教科横断的な学習教材を各学年に配列し、「学習の見通しをもとう」の中で、書写・他教科との関連を教材ごとに一覧表にまとめて示している。(第1学年P.6-P.8)	・ユニバーサルデザインに関する配慮として、色づかいや表示の仕方を工夫する等のカラーユニバーサルデザインを進めるとともに、特別なフォントを使用している。

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 書写

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
東書	・姿勢と筆記具の書きやすい持ち方について写真や絵で示している。(P.8-P.9)	・「書写のかぎ」として学習のポイントを示している。	・巻頭の「文字を「書く」って、なんだろう」で、書写の学習の意義や何ができるようになるのかを示し、学習の見通しをもち、自分の文字をよりよくしていくとさせている。	・年賀状を題材にしてはがきの書き方を取り上げている。(第1学年「生活に広げよう」P.36-P.37)	・折り込みのカラーページは、書き初めの手本や文字文化に関する資料を掲載している。 (第1学年「書き初めをしよう」,第2学年「書き初めをしよう」,第3学年「書き初めをしよう」,発展「書の古典 今に生きる書」P.89-104)
	・楷書,行書の基本の点画の書き方について「書写の力ギ」でポイントを示し,朱墨文字を使って説明している。「行書に調和する仮名」では,字形の違いを分かりやすく図示している。(P.10-P.11,P.28)	・書写で学んだことを,普段の生活の中で活用するようにしており,細かく場面を設定している。 第1学年「職場訪問をしよう」(P.39-P.41) 第2学年「本のポップを書こう」(P.60-P.61) 第3学年「思いを文字で表そう」(P.83-P.85)	・「生活に広げよう」(第1学年 手紙を書こうーお礼状,年賀状を書こう,職場訪問をしよう),(第2学年本のポップを書こう,地域の活動に参加しようー防災訓練),(第3学年 思いを文字で表そう)により,様々な書式とそれを生かす場面を示している。	・書き初めを各学年に配置している。各学年半紙2,長半紙2の手本がある。長半紙については,巻末に原寸大1,縮小版1,参考として他に書き初めにふさわしい言葉の例が8例ずつある。第1学年と第2学年は楷書と行書,第3学年は行書の内容となっている。(「書初めをしよう」P.38)	・巻末に「書写活用ブック」(さまざまな書式,硬筆字典,ノートの取り方・レポートの書き方)を掲載し,発展的な学習や実生活・実社会での活用につないでいる。
	・知識の定着を図るために,各学年末に「書写テストに挑戦!」がある。(P.44)	・巻末に「書写活用ブック」があり,その中に実社会で活用できる書式と,そのポイントについてまとめた「さまざまな書式」に加えて,「硬筆字典」が掲載されている。	・「見つけようー確かめようー生かそう」と課題発見から学習をはじめるようになっている。	・国語や他教科の内容につながる題材を取り上げ,教科関連マークで関連を示している。 (「手紙を書こうーお礼状」P.22等)	・手本ごとに運筆動画を視聴できるよう,二次元コードを掲載するなど,学習の参考となるデジタルコンテンツが提供されている。(第1学年「大志」P.15等)
三省堂	・姿勢,筆記具の持ち方についての正誤を写真や問題形式で示している。(P.6-P.7,P.10)	・「書き方を学ぼう」のコーナーで書き方のポイントを示している。	・巻頭に,「自分の文字をよりよくするために」,「学習の流れ」を示し,何のために学ぶのか,どのように学ぶのかについて示している。	・暑中見舞いを題材にはがきの書き方を取り上げている。(「書いて身につけよう」2年P.60-61)	・折り込みのカラーページは,書き初めの手本や楷書と行書の違いに関する資料を掲載している。 (第1学年「書き初め」,第2学年「書き初め」,第3学年「書き初め」,発展「書き方を学ぼう」P.105-117)
	・楷書,行書の基本の点画の書き方については朱墨文字を使って説明している。(P.14-P.15,P.34)	・各学年に活用単元として「やってみよう」がある。 第1学年「グループ新聞を作ろう」(P.44-P.45) 第2学年「情報誌を作ろう」(P.64-P.65) 第3学年「名言集を作ろう」(P.74-P.75)	・現代まで受け継がれてきた文字の歴史や文化などを取り上げている。(「文字の変遷」P.30-31等)	・書き初めは巻末に配置されている。第1学年は原寸大1,縮小版1,第2学年は原寸大1,縮小版3,第3学年は毛筆手本原寸大1,毛筆縮小版1,硬筆1の手本がある。各学年ともに楷書と行書の内容になっている。	・巻末に「資料編」(日常の書式,書写の広場)を掲載し,発展的な学習や実生活・実社会での活用につないでいる。
	・知識の定着については巻末に「学力テスト問題」があり,技能の定着については「書いて身につけよう」がある。(P.18-P.21,P.66-P.67等)	・巻末には資料編があり,その中で「日常の書式」についてまとめている。	・単元を通して学んだことが実際に活用できているか確認し,学んだことを自分の言葉でまとめるようになっている。	・国語の学習内容・教材との関連のある題材を取り上げている。(「活字と手書き文字・筆順」P.22等)	・手本ごとに運筆動画を視聴できるよう,二次元コードを掲載するなど,学習の参考となるデジタルコンテンツが提供されている。(第1学年「天地」P.16等)

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 書写

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
教出	・姿勢,用具の持ち方について写真で示している。(P.8-P.9)	・「書くときのポイント」「書くときの留意点」「言葉選びのポイント」「詩や短歌,俳句を書くときのポイント」として学習のポイントを示している。	・巻頭に「学習の進め方」を収録し,生徒の習字例や活動写真を示している。	・「書式の教室」の中ではがきの書き方を取り上げている。(「はがきの書き方」P.110-112)	折り込みのカラーページは,書き初めの手本や時代による文字の変遷に関する資料を掲載している。 (1年「書き初めを書く」,コラム「書くこと」の変遷」,2年「書き初めを書く」,3年「書き初めを書く」P.57-P.64,P.137-P.144)
	・楷書,行書の基本の点画の書き方についてはポイントを示し,朱墨文字を使って説明している。(P.16-P.17,P.42-P.43等)	・学校生活や日常生活に生かす活動例がある。 第1学年「校庭の植物の観察をレポートにまとめる」 「お薦めの本の帯やポップを作る」 「ポスターを書く」(P.32-P.35) 第2学年「新聞を書く」 「掲示物(ポスター)に案内を書く」 「案内状を書く」(P.90-P.93) 第3学年選択課題 課題A「新入生に自分の中学校の魅力を,書いて伝えよう」,課題B「これまでの学習や学校生活で出会った「名言」を選んで書こう」,課題C「感謝や決意の言葉を書いて,友人やお世話になった人に伝えよう」(P.104-P.107)	・我が国の文字文化の系譜を知り,身の回りの文字環境について理解を深めるようになっている。	・書き初めを各学年に配置している。各学年原寸大手本1,縮小版1,参考として書き初め語句例が6つずつある。第1学年は楷書と行書,第2学年と第3学年は行書の内容となっている。	巻末に「書式の教室」,「書写テストで確認」等を掲載し,発展的な学習や実生活・実社会での活用につないでいる。
	・知識の定着については巻末に「書写テストで確認」がある。(P.116-P.117)	・巻末には実社会で活用できる「書式の教室」がある。	・各単元①目標→②考えよう→③振り返ろうという学習の内容や手順を明確にしている。	・国語や他教科,日常生活につながる題材を取り上げている。(「学校生活に生かして書く」P.32等)	手本ごとに運筆動画を視聴できるよう,二次元コードを掲載するなど,学習の参考となるデジタルコンテンツが提供されている。(1年「天地」P.18等)
光村	・姿勢,筆記具の持ち方について写真で示している。(P.30-P.31)	・各学習におけるポイントを「学びのカギ」として示している。	・巻頭に中学校3年間の目標を掲げるとともに,全教材に「目標」及び「振り返ろう」を明示している。	・「日常に役立つ書式」の中で,はがきの書き方を取り上げている。(「はがきの書き方」P.112)	折り込みのカラーページは,書き初めの手本や横書きの手本等を掲載している。 (1年「書き初め」,2年「書き初め」,3年「書き初め」,他に学年別の手本P.152-164)
	・楷書,行書の基本の点画の書き方については「学びのカギ」でポイントを示し,朱墨文字を使って説明している。「行書に調和する仮名」では,字形の違いを分かりやすく図示している。(P.40-P.41,P.50-P.53,P.74-P.75)	・国語科をはじめ,他教科や学校生活で活用する例がある。 第1学年「情報収集の達人になろう」(P.64) 第2学年「行書を活用しよう」(P.80-81)「職業ガイドを作ろう」(P.86) 第3学年「防災フェスタを開こう」(P.98-P.99)「冊子にまとめよう」(P.108)	・巻頭に「中学書写スタートブック」を配置し,書写の基礎・基本を分かりやすく示すとともに「教科書通りに書くことができればいいの?」(P.34-P.35)では書写の学習の進め方やタブレットの活用に仕方について掲載している。	・書き初めを巻末に配置している。各学年,長半紙で原寸大1,縮小版3つずつ手本がある。各学年とも楷書と行書の内容となっている。	巻頭に取り外しができる「別冊 書写ブック」が添付されており,当該学年の基礎的な技能についてまとめられている。
	・知識や技術の定着については巻頭に「別冊書写ブック」があり,取り外して硬筆の学習に活用することができる。	・巻末に「日常に役立つ書式」がまとめられている。	・生徒が見通しをもって,主体的に学習に取り組むことができるように各教材は①考えよう→②確かめよう→③生かそうという展開が,ひと目で分かるようになっている。	・国語や総合的な学習の時間,学校生活につながる題材を取り上げている。(「国語」季節のしおり①」P.62等)	手本ごとに運筆動画を視聴できるよう,二次元コードを掲載するなど,学習の参考となるデジタルコンテンツが提供されている。(1年「天地」P.42等)

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 社会（地理的分野）

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
東書	・すべての見開きページの下に「チェック」「トライ」という見出しがあり、学習した内容を活用して考察したり、表現したりする活動がある。(P.10,P.11等)	・領土をめぐる問題について、地理的な背景を丁寧に解説し、地理的特色について考えるようにしている。(P.28,P.29)	・デジタルコンテンツとして、導入→展開→まとめという単元の学習の流れの中で活用でき、授業や家庭学習で使えるコンテンツ(動画、ワークシート、確認クイズ等)が掲載されている。(P.8等)	・地域的特色を背景にしたアイヌ民族の文化を取り上げる「未来にアクセス」というコーナーがある。(P.267)	・単元が変わるごとに「探究課題は？」というコーナーがあり、探究課題のキーワードをあげている。(P.187等)
	・「スキルアップ」コーナーを設け、地理の学習に欠かせない基礎的・基本的な技能を身に付けるようにしている。(P.25)	・自らの考えを整理し、表現することができるように小集団での活動ができる「みんなでチャレンジ」というコーナーがある。(P.15)	・世界の諸地域の単元では、各州のはじめに「世界の窓」というページがあり、さまざまな視点から写真や資料が掲載してある。(P.61等)	・各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返るページが設けてある。(P.8等)	・導入資料、学習課題、本文、チェック&トライと1時間の学習の流れが確認できる。(P.10-P.11等)
	・「もっと知りたい」という補足説明があり、知識を確実に定着できる工夫がある。	・まとめとして、「見方・考え方」を働かせて探究課題に答えるコーナーがある。(P.195等)	・各章のまとめのページに「みんなでチャレンジ」というコーナーがあり、グループで話し合う活動が記載してある。(P.255等)	・3年間の社会科学学習を貫く五つのテーマについて、三分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料が使用されており、分野関連を示すマークがある。(P.38-39等)	
		・巻頭に「地理を学ぶ5つのミカタ」があり、地理的な見方・考え方を意識して学習できるようになっている。(P.6)			
教出	・すべての見開きページに「確認」「表現」という項目があり、学習した内容をもとに復習することができる。(P.7等)	・領土をめぐる問題について、平和的な解決に向けて考えるようにしている。(P.20-P.21)	・デジタルコンテンツとして、動画やクイズ統計資料など各種コンテンツにアクセスして、学習に活用できる。(P.7等)	・持続可能な社会に向けてというコーナーでアイヌ民族の文化を取り上げている。(P.276)	・章を見通した学習課題が記載されており、キャラクターが学習内容や課題について説明している。(P.171等)
	・「THINK」というコーナーを設け、資料を基に、地理的な特徴を見出す活動が設定されている。(P.17等)	・章、節の最後に「学習したことを活用してまとめよう」というコーナーを設け、学習内容を自分なりに表現する活動を設定している。(P.42)	・世界の諸地域の単元では、各州のはじめに学習テーマと地球的課題が掲載してある。(P.44-P.45等)	・既習内容を振り返り、学習の見通しをもつ活動が設定されている。(P.25等)	・章とびらに中単元の学習の課題と見通しを明示している。(P.43等)
	・「地理の技」という地理の学習で身に付けたい技能や表現力を養うコーナーがある。(P.11等)	・学習の視点から、各地方を振り返りながら知識を整理するコーナーがある。(P.184等)	・単元の最後に学習したことを活用してまとめるコーナーが設けてある。(P.115等)		・見開き1ページが1時間の学習になっており、キャラクターが学習内容について説明している。(P.26等)
		・各章のはじめにその章で主に働かせる「見方・考え方」を示している。(P.5等)			
帝国	・すべての見開きページに「確認しよう」「説明しよう」という項目があり、学習した内容の定着を図ることができる。(P.3等)	・領土をめぐる問題について、歴史的な背景等を図版を用いて解説している。(P.20-P.21)	・デジタルコンテンツとして、学習内容の習得や調べ学習に活用できるコンテンツ(アニメーション、ワークシート、動画、他分野教科書リンク集等)がある。(P.2等)	・未来に向けてというコーナーでアイヌ民族を例として取り上げ、SDGsと関連させて紹介している。(P.280)	・イラスト地図や写真資料で地域を概観する「とびら」や「写真で眺める」を設けている。(P.233-P.235等)
	・時差の学習について、「技能をみがく」というコーナーがあり図解や説明が工夫されている。(P.17)	・思考ツールが紹介、使用されている。(巻頭P9,P.181等)	・世界の諸地域、日本の諸地域の単元では、冒頭に導入として特徴的な写真を提示し、イメージ化を図っている。(P.46-P.47等)	・章・節・各本文ページそれぞれの冒頭では、学習する内容を問いで示し、生徒自らが学習の見通しをもてるようになっている。(P.2-P.3等)	・見開き1ページが1時間の学習になっており、キャラクターが考えを深める質問や学習内容の説明をしている。(P.16等)
	・「地図帳活用」というコーナーがある。(P.16)	・まとめページに具体的な見方・考え方が示されている。(P.180)	・節ごとに振り返りをするコーナーがあり、自分の学習を評価することができる。(P.63等)		
		・アクティブ地理という特設ページには、ページ全体で働かせる「見方・考え方」が明示されている。(P.150等)			
日文	・すべての見開きページに「確認」「表現」という項目があり、学習した内容を活用して考察したり、表現したりする活動がある。(P.5等)	・領土をめぐる問題について、領域保全のための様々な活動を取り上げている。(P.20-P.21)	・デジタルコンテンツとして、各自の学習進度やペースに合わせた教材(動画、ポートフォリオ、小テスト、白地図等)がある。(P.4等)	・アイヌ民族の文化に関連する写真が掲載されている。(P.278)	・単元を貫く問いである「編・章・節の問い」を構造的に配置する構成になっている。(P.2-P.3等)
	・「スキルUP」というコーナーを設け、地理の学習を進めるにあたって必要な技能を系統立てて習得できるようにしている。(P.17)	・「まとめとふり振り返り」というコーナーがあり、学習内容を自分の言葉でまとめる活動がある。(P.42等)	・世界の諸地域、日本の諸地域の単元では、人々の生活場面の写真が豊富に掲載されている。(P.46-P.47等)	・単元の冒頭に学習のはじめにというページがあり、単元の見通しをもつページがある。(P.2-P.3等)	・「節の問いを立てよう」のコーナーでは、キャラクターが資料等について説明している。(P.51等)
	・「地理+α」というコーナーがある。(P.19)	・巻頭で「地理的な見方・考え方」についてイラストを用いて視覚的に解説している。(巻頭P.3-P.4)	・「編の学習をふり返ろう」というコーナーがあり、学習内容や自分自身の学び方等を振り返ることができる活動がある。(P.25等)	・さまざまな地域の特色ある文化について、幅広く掲載している。(P.181等)	
		・学習課題の解決に向けて手がかりになる主な「見方・考え方」の例を示している。(P.4等)			

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 社会（歴史的分野）

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
東書	・見開き2ページで1単位時間を原則にしてタイトル右に「学習課題」として「どのような」、「どのように」、「なに」という問いかけを記載しており、1単位時間における学習課題を提示している。	・1単位時間の学習課題に対して、短時間の説明・要約等で学習内容をまとめる「トライ」を見開きページの右下に示している。	・各章の冒頭に小学校で習った言葉、絵図と人物や歴史的事象のイラストを用いた年表等や資料の読み取り及び話し合い活動を示している。また、章や各節の学習課題が示されている。(P.22～P.23,P.64～P.65等)	・第1章の特設ページで、日本の主な史跡・国宝・重要文化財を示し、本ページ内の資料にも「国宝」や「重要文化財」、「世界遺産」等のマークが付いている。(P.20～P.21,P.57等)	・幅広い判型(AB判)を用いている。ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	・1単位時間の学習課題を確認する「チェック」を見開きページの左下に示している。	・各章末に「深めよう」として、思考ツール等を用い、単元の学習をまとめる活動を示している。(P.62,P.96等)	・各章末に「ふり返ろう」として、それぞれの節の探究課題をステップに沿って解決する活動を示している。(P.60～P.61,P.94～P.95等)	・多面的・多角的な学習が行えるよう、掲載資料に分野関連を示すリンクマークが付いている。(P.120～P.121,P.196等) ・教科を横断した学習が行えるよう、掲載資料に教科関連を示すリンクマークが付いている。(P.29,P.51等)	・本文の見開きページ右に、時代や世紀を表すスケールを付けて、現在の学習が歴史全体のどの部分に位置しているか、分かるように示している。(P.27等)
	・各章末に「確かめよう」として、語句や年表を用いてその章の学習を振り返り、基礎的・基本的な知識の定着を確認する活動を示している。(P.60～P.63,P.94～P.97等)	・第1章で「歴史的な見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに、学習の過程に「見方・考え方」を働かせるマークが付いている。(P.10～P.15)	・単元学習の導入から展開、まとめまで毎時間デジタルコンテンツを掲載している。(P.24,P.26等)	・現代的な諸課題を五つのテーマで捉え、持続可能な社会の形成を意識しながら学習を進められる構成となっている。(P.2～P.3,P.265,P.274～P.275)	・各章の「導入の活動」や「まとめの活動」で、先生や生徒のキャラクターが登場し、吹き出しを通して、学習を促す言葉かけを行っている。(P.22,P.60～P.62等)
教出	・見開き2ページを1単位時間の構成でタイトル右に「学習課題」として「どのような」、「どのように」、「なぜ」という問いかけを記載しており、1単位時間における学習課題を提示している。	・1単位時間の学習課題に対して、自分の言葉で説明する「表現」を見開きページの右下に示している。また、各節末には節の学習課題に対して自分の言葉で説明する「節をとらえる」を見開きページの右下に示している。(P.31,P.37等)	・各章の冒頭に絵図、写真、地図等や人物のイラストを用いた年表及び資料の読み取りを示している。また、章の学習課題とともに、章に係る説明を示し、各節のタイトル及び各節に係る歴史的な事象を示している。(P.19～P.21,P.59～P.61等)	・巻頭の特設ページで日本の伝統文化を、巻末の特設ページで日本の主な遺跡・史跡・できごとを示し、本ページ内の資料にも「国宝」や「重要文化財」、「世界遺産」のマークが付いている。(P.44～P.45等)	・幅広い判型(AB判)を用いている。ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	・1単位時間の学習課題を解決する「確認」を見開きページの右下に示している。(P.47,P.49等)	・各章末に「STEP」、「JUMP」として「歴史的な見方・考え方」を働かせて時代の転換点や特色を考察し、表現する学習活動を示している。(P.57～P.58,P.93～P.94等)		・他分野と関連している学習内容には、ページ下に「関連」というマークが付いており、関連内容を示している。(P.178,P.200等)	・本文の見開きページのタイトル上に、時代や世紀を表すスケールを付けて、現在の学習が歴史全体のどの部分に位置しているか、分かるように示している。(P.22等)
	・各章末に「HOP」として、語句や地図、年表を用いてその章の学習を振り返り、基礎的・基本的な知識の定着を確認する活動を示している。(P.56～P.57,P.92～P.93等)	・第1章で「見方・考え方」を明示して捉えさせている。(P.9)	・章始めに「まなびリンク」を付けたり、「歴史の技」で動画を視聴できたりする等、デジタルコンテンツを掲載している。(P.95,P.133,P.143等)	・現代社会の課題について、持続可能な開発目標の視点から問いを立てて調査・考察し、発表・交流する学習活動を紹介している。(P.288～P.289) また、特設ページに、持続可能な開発目標と関わり深い学習内容がある場合は、右ページの下にマークが付いている。(P.201,P.237等)	・先生や生徒のキャラクターが随所に登場し、吹き出しを通して、学習を促す言葉かけを行っている。(P.22,P.24等)

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 社会（歴史的分野）

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
帝国	・見開き2ページで1単位時間を原則としてタイトル下に「学習課題」として「どのような」、「どのように」、「なぜ」という問いかけを記載しており、1単位時間における学習課題を提示している。	・1単位時間の学習課題に対して、自分の言葉で表現する「説明しよう」を見開きページの右下に示している。また、各節末には節の学習課題に対して自分の考えをまとめる「節の振り返り」を、各章末の「学習を振り返ろう」で示している。(P.102,P.158等)	・各章の冒頭に絵図、小学校で学習した人物と主な出来事のイラストを用いた年表等を示し、話し合い活動や予想を書く活動を示している。また、章や各節の学習課題を示している。また、章や各節の学習課題を示している。さらに各時代のはじめに「タイムトラベル」として、当時の町並み等のイラストを読み解く活動を示している。(P.15,P.26-P.27,P.63-P.65等)	・巻末の特設ページで日本の主な遺跡・史跡・文化財を示し、本ページ内の資料にも「国宝」や「重要文化財」、「世界遺産」等のマークが付いている。また、各時代における文化史のページを原則1単元4ページとし、写真を掲載している。(P.72-P.75,P.98-P.101等)	・幅広い判型(AB判)を用いている。ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	・1単位時間の学習課題を解決する「確認しよう」を見開きページの右下に示している。	・各章末に「学習を振り返ろう」として、思考ツール等を用い、単元の学習をまとめる活動を示している。(P.60-P.62,P.102-P.104等)	・各章末に「『学習する時代の見通し』に戻ってみよう」として、学習前後を振り返る活動を示している。(P.62,P.104等)	・他分野・他教科と関連している学習内容には、ページ下に「小学校・地理・公民・他教科との関連」というマークが付いており、関連するキーワードを示している。(P.39,P.43等)	・本文の見開きページ右に、時代や世紀を表すスケールを付けて、現在の学習が歴史全体のどの部分に位置しているか、分かるように示している。(P.16,P.18等)
	・各章末に「学習事項の確認」として、地図や年表を用いてその章の学習を振り返り、基礎的・基本的な知識の定着を確認する活動を示している。(P.60,P.102等)	・巻頭で「見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに、「見方・考え方」アイコンを、「タイムトラベル」や「学習を振り返ろう」等のタイトル脇に設けている。(巻頭P8,P.34,P.61等)	・章・節の始めや「タイムトラベル」に、インターネットを使用した多様な学びが実現できるように、デジタルコンテンツを掲載している。(P.105-P.106,P.114,P.116,P.161,P.176等)	・持続可能な社会の形成に活かせる事例を取り上げた「未来に向けて」を、巻頭・巻末や本体各所に設けている。また、歴史学習と地球的な諸課題を結び付ける学習を最終単元で設けている。(巻頭P.1-P.2,P.307-P.309)	・生徒のキャラクターが随所に登場し、吹き出しを通して、学習を促す言葉かけを行っている。(P.16,P.18等)
山川	・1単位時間の内容を見開き2ページを原則としてタイトル下に「学習課題」として「どのような」、「どのように」、「なぜ」という問いかけを一つ以上記載しており、1単位時間における学習課題を提示している。(P.36,P.38等)	・1単位時間の学習課題に対して、学習内容をまとめる「ステップアップ」を見開きページの右下に示している。(P.25等)	・各章の扉には、これから学習する内容を日本史と世界史に分けて年表で示すとともに、章全体に係る説明を示し、日本史と世界史の主な歴史的事象の写真や絵図を示している。(P.14-P.15,P.62-P.63等)	・巻頭の特設ページで「日本の世界遺産」を地図等とともに示し、本ページ内の資料にも「国宝」や「世界遺産」のマークを記載している。	・幅広い判型(AB判)を用いている。ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	・各章末に地図や表を用いてその章の学習を振り返り、基礎的・基本的な知識の定着を確認する活動を示している。(P.60-P.61,P.252-P.253等)	・社会的な事象について、差異を重視した発問の工夫等を通して、「見方・考え方」を捉えさせている。(P.180,P.189等)	・二次元コードが付いている。(P.113-P.114,P.167等)	・日本や世界が抱える現代の諸課題について、考察できる内容等を設けている。(P.276-P.283)	
日文	・見開き2ページを1単位時間とすることを原則としてタイトル下に「学習課題」として「どのような」、「どのように」、「なぜ」という問いかけを記載しており、1単位時間における学習課題を提示している。(P.8等)	・1単位時間の学習課題に対して、自分の言葉で説明する「表現」を見開きページの右下に示している。また、各節末には節の学習課題に対して自分の言葉で説明する際の視点となる「節の問いに答えよう」を見開きページの右下に示している。(P.71,P.119等)	・各編の冒頭に絵図、人物のイラストを用いた年表、写真、地図等や、資料の読み取り、話し合い活動及び予想を書く活動を示している。また、章や各節の学習課題が示されている。(P.18-P.21,P.64-P.67等)	・巻頭の特設ページで、受け継いだ「歴史の遺産」を、巻末の特設ページで日本の主なできごと・史跡、関係地、世界遺産、文化財等を示し、本ページ内の資料にも「国宝」や「世界遺産」のマークが付いている。また、各時代における文化史のページを1単元3～4ページとし、写真を掲載している。(P.78-P.81,P.96-P.99,P.206-P.208等)	・幅広い判型(AB判)を用いている。ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	・1単位時間の学習課題を解決する「確認」を見開きページの右下に示している。(P.23等)	・各編末の「まとめとふり振り返り」で、「編の問い」や「節の問い」等の各課題の考察を通して、単元の学習をまとめる活動を示している。(P.62-P.63,P.102-P.103等)	・各編末に学習前後を振り返る活動を示している。(P.63,P.103等)	・地理や公民の学習に関わる事項を確認、活用することができるよう、連携コーナーを設けている。(P.298-P.299等)	・本文の見開きページ右に、時代や世紀を表すスケールを付けて、現在の学習が歴史全体のどの部分に位置しているか、分かるように示している。(P.27等)
	・各編末に語句や地図、年表を用いてその章の学習を振り返り、基礎的・基本的な知識の定着を確認する活動を示している。(P.62-P.63,P.102-P.103等)	・第1編で「見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに、第2～6編の本文ページで「見方・考え方」の例を毎時間示している。(P.10-P.11)	・単元学習の導入から展開、まとめまで二次元コードからWebサイトにアクセスすることで利用できるデジタルコンテンツを掲載している。(P.22等)	・現代的な諸課題を解決していくための機会として、「先人に学ぶ」、「地域に学ぶ」等のコラムや「チャレンジ歴史」等の特設ページを各時代に設けている。(P.4-5,P.286-P.287,P.288-P.289)	・先生や生徒のキャラクターが随所に登場し、吹き出しを通して、学習を促す言葉かけを行っている。(P.4,P.7等)

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 社会（歴史的分野）

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の 育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
自由社	・1単位時間の内容を見開きとしてタイトル下に「学習課題」として「どのような」、「どのように」、「なぜ」という問いかけを記載しており、1単位時間における学習課題を提示している。	・1単位時間の学習課題に対して、自分の言葉で表現する「チャレンジ」を見開きページの下に示している。(P.21,P.23等)	・各章の冒頭に絵図等とともに、小学校で学んだ人物のイラストを時代順に示している。(P.19,P.69等)	・巻頭の特設ページで「日本の世界文化遺産」を地図等とともに示し、本ページ内の資料にも「国宝」や「重要文化財」、「世界遺産」のマークが付いている。(P.65等)	・幅広の判型(AB判)を用いている。
	・各章末に語句や地図を用いてその章の学習を振り返り、基礎的・基本的な知識の定着を確認する活動を示している。(P.66,P.102等)	・各章末の「時代の特徴を考えるページ」で、多彩な学習課題の提起を通して、単元の学習をまとめる活動を示している。(P.67,P.103等)また、各章に探究を促す活動として「調べ学習のページ」を設けている。(P.64-P.65,P.100-P.101等)	・各章末に学習を振り返り、時代の特徴を構造化する「対話とまとめ図のページ」を示している。(P.68,P.104等)		・本文の見開きページ左下に、時代や世紀を表すスケールを付けて、現在の学習が歴史全体のどの部分に位置しているか、分かるように示している。(P.20,P.22等)
					・生徒のキャラクターが各章に登場し、吹き出しを通して、学習を促す言葉かけを行っている。(P.19等)
育鵬社	・1単位時間の内容を見開きとしてタイトル右に「学習課題」として「どのような」、「どのように」、「なぜ」という問いかけを記載しており、1単位時間における学習課題を提示している。(P.28等)	・1単位時間の学習課題に対して、自分の言葉で説明する「探究」を見開きページの右下に示している。(P.46等)	・各章の冒頭に年表、絵図、人物や歴史的事象のイラストを時代順に示すとともに、資料の読み取りも示している。また、章全体に係る説明を示し、章及び各節の学習課題を示している。(P.24-P.27,P.64-P.67等)	・巻頭の「日本の美の形」という特設ページで文化財を、巻末の特設ページで日本の主な遺跡・史跡を地図等とともに示し、本ページ内の資料にも「国宝」や「世界遺産」のマークが付いている。(P.112-P.113等)	・幅広の判型(AB判)を用いている。ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	・1単位時間の学習課題を解決する「確認」を見開きページの右下に示している。(P.28等)	・各章末の「学習のまとめ」で、資料の読み取りを通して整理し、時代像をまとめる活動を設けている。(P.62-P.63,P.94-P.95等)			・本文の見開きページ左下に、時代や世紀を表すスケールを付けて、現在の学習が歴史全体のどの部分に位置しているか、分かるように示している。(P.28,P.30等)
	・各章末に地図や年表を用いてその章の学習を振り返り、基礎的・基本的な知識の定着を確認する活動を示している。(P.62-P.63,P.94-P.95等)	・序章で「見方・考え方」を具体例を挙げて説明しているとともに、本文とコラム「歴史ズームイン」で「見方・考え方」コーナーを設けている。(P.12-P.13,P.156,P.172,P.222等)	・各章冒頭に二次元コードが付いている。(P.97,P.147等)	・主体的に社会の課題を追及、解決し、その発展に寄与した先人の取組を、資料やコラムで紹介している。(P.128,P.195,P.221,P.264等)	・先生や生徒のキャラクターが各章に登場し、吹き出しを通して、学習を促す言葉かけを行っている。(P.27等)
令和	・1単位時間の内容を2～3ページ分として、タイトル左に「課題」として「どのような」、「いつ」、「どこで」、「何か」という問いかけを記載しており、1単位時間における学習課題を提示している。	・1単位時間の学習課題に対して、最後に自分の言葉で調べたり説明したりする「考えよう」を示している。(P.21等)	・各章の冒頭に絵図及び歴史的事象を示した年表を掲載し、政治、外交、文化、産業の四つの視点で章の学習課題を示している。(P.18,P.120,P.184等)	・巻末の特設ページで「日本美術図鑑」として、日本の文化財を示し、本ページ内の資料にも「国宝」や「世界遺産」、「重要文化財」のマークが付いている。(P.64,P.144等)	・本文は縦書きで示し、脚注は横書きで示している。
	・各章末に語句や年表を用いてその章の学習を振り返り、基礎的・基本的な知識の定着を確認する活動を示している。(P.116-P.118,P.180-P.182等)	・各章末の「まとめ学習」で、時代ごとの特色をまとめる活動を示している。(P.115,P.179等)			
		・序章で「見方・考え方」を明示して捉えさせている。(P.15-P.16)			

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 社会（公民的分野）

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
東書	・見開き1ページを導入資料,学習課題,本文,「チェック&トライ」という流れで構成している。(P.40-P.41等)	・「見方・考え方」を働かせるマークを設け,「見方・考え方」を働かせる視点の例を示している。(P.133等)	・各章の導入に「導入の活動」を設定し,各章の探究課題へとつなげている。(P.38-P.39等)	・全体を6章構成とし,第1章で大項目A「私たちと現代社会」,第2章・第3章で大項目C「私たちと政治」,第4章で大項目B「私たちと経済」,第5章で大項目D「私たちと国際社会と諸課題」,終章で持続可能な社会の実現に向けた内容を示している。	・本文に関連のある資料や写真を掲載している。
	・学習した知識・技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を設定している。(P.45等)	・見開き1ページに学習内容の要約や説明を行う「チェック&トライ」を設定している。(P.80-P.81等)	・中学生が社会参画している具体的な事例を写真等を使用して取り上げている。(P.8-P.9)	・第1章で文化について扱い,年中行事や伝統文化などについて取り上げている。(P.18-P.23)	・「導入の活動」や「まとめの活動」では,キャラクターが吹き出しで資料を読み取る視点を示したり,学習活動を促したりしている。(P.130-P.131)
	・小学校の社会科や「スキル・アップ」等で身に付けた技能を活用し,調べ学習などの活動をするコーナーを設定している。(P.193等)	・各章末に思考ツールを活用したり,話し合い活動等を設定したりした「まとめの活動」を設けており,さらに「深めよう」で現代社会の課題を解決する活動を設定している。(P.32-P.35等)	・終章で,持続可能な社会の実現のためのアクションプランを作成・発表するページを設定している。(P.216-P.223)	・教科関連や分野関連を示すリンクマークを設け,教科横断的な学習内容や三分野共通の題材や,分野をまたがる共通の資料が確認できるようにしている。(P.138-P.139等)	・資料には見開きごとに通し番号を付けている。
		・「まとめの活動」内等に小集団の話し合い活動等の「みんなでチャレンジ」を設定している。(P.72等)	・「みんなでチャレンジ」の活動として社会参画を疑似体験するシミュレーション学習を設定している。(P.108-P.109)	・二次元コードを示し,インターネットを用いて他の分野や他教科と関連させて学習ができるようにしている。(P.6等)	
教出	・見開き1ページを導入資料,学習課題,本文,「確認」「表現」という流れで構成している。(P.16-P.17等)	・「見方・考え方」を働かせるマークを設け,その章で意識したい「見方・考え方」を活用して考える問いを設定している(P.91等)	・各章の導入に「学習のはじめに」を設定し,各章の探究課題へとつなげている。(P.40-P.41等)	・全体を7章構成とし,第1章で大項目A「私たちと現代社会」,第2章・第3章で大項目C「私たちと政治」,第4章・第5章で大項目B「私たちと経済」,第6章で大項目D「私たちと国際社会と諸課題」,終章で持続可能な社会の実現に向けた内容を示している。	・本文に関連のある資料や写真を掲載している。
	・学習した知識・技能を系統的に習得させる「公民の技」を設定している。(P.59等)	・見開き1ページに学習内容の要約や説明を行う「確認」「表現」を設定している。(P.75等)		・第1章で文化について扱い,年中行事や伝統文化などについて取り上げ,特設ページを見開き1ページ設けている。(P.22-P.27)	・各章の「学習のはじめに」では,キャラクターが吹き出しで資料を読み取る視点を示したり,学習活動を促したりしている。(P.84-P.85等)
	・資料を活用したり,学習した内容を発展させたりする「THINK!」や「公民の窓」を設定している。(P.91,P.121等)	・各章末に思考ツールを活用したり,話し合い活動等を設定したりした「学習のまとめと表現」を設けている。(P.126-P.127等)	・終章で,持続可能な社会の実現のための「私の提案」を作成・発表するページを設定している。(P.232-P.236)	・巻頭に小学校の学習,他分野・他教科との学習の関連を示し,見開き1ページの下部に,その時間の学習内容との関連を示している。(P.22等)	・資料には見開きごとに通し番号を付けている。
		・本文の学習内容に関連した作業や話し合い活動を行う「TRY!」を設定している。(P.35等)	・現代の課題に関して,話し合い活動や探究活動を促す「持続可能な社会に向けて」を設定している。(P.70-P.71)	・二次元コードを示し,インターネットを用いて学習に役立つ情報や動画等を掲載している。(P.13等)	

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 社会（公民的分野）

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
帝国	・見開き1ページを導入資料,学習課題,本文,「確認しよう」,「説明しよう」という流れで構成している。(P.4-P.5等)	・「見方・考え方」を働かせる「見方・考え方」アイコンを設定し,その章で意識したい「見方・考え方」を活用して考える問いを設定している。(P.39等)	・各章の導入に「導入の活動」を設定し,各章の探究課題へとつなげている。(P.38-P.39等)	・全体を5部構成とし,第1部で大項目A「私たちと現代社会」,第2部で大項目C「私たちと政治」,第3部で大項目B「私たちと経済」,第4部で大項目D「私たちと国際社会と諸課題」,第5部で課題探究学習を設定している。	・本文に関連のある資料や写真を掲載している。
	・学習に必要な技能を磨くため,「技能をみがく」を設定している。(P.23等)	・見開き1ページに学習内容の要約や説明を行う「確認しよう」や「説明しよう」を設定している。(P.4-P.5等)	・巻末に中学生が社会参画している具体的な事例を写真等を使用して取り上げている。	・第1章で文化について扱い,年中行事や伝統文化などについて取り上げている。(P.12-P.15)	・各章の「学習の前に」や「学習を振り返ろう」では,キャラクターが吹き出しで資料を読み取る視点を示したり,学習活動を促したりしている。(P.2-P.3,P.24-P.25等)
	・見開き1ページの中に,その時間の学習内容と関連した資料を提示し,その資料を読み取る視点や学習活動を示す「資料活用」を設定している。(P.44等)	・各章末に思考ツールを活用したり話し合い活動等を設定したりする「学習を振り返ろう」を設けており,さらに第5部の「課題探究学習への準備」を設定している。(P.70-P.71等)	・終章で,持続可能な社会の形成に向けて「課題探究学習」を設定し,レポートを作成・発表するページを設定している。(P.216-P.223)	・見開き1ページの下部に,その時間の学習内容と小学校の学習,他分野・他教科との関連を示している。(P.10等)	・資料には見開きごとに通し番号を付けている。
		・見開きの導入資料に関連した導入発問「対話」を設定し,他者との対話を通して学習を進める問いを設定している。(P.132等)	・社会参画を疑似体験するシミュレーション学習「アクティブ公民」,それらをまとめたり,発展した内容を扱う「アクティブ公民AL」を設定したりしている。(P.133-P.145)	・二次元コードを示し,インターネットを用いて教科書の学習内容とリンクしたリンク集やワークシート等を示している。(P.118等)	
日文	・見開き1ページを導入資料,学習課題,本文,「確認」,「表現」という流れで構成している。(P.8-P.91等)	・見開き1ページに学習課題の解決に向けた「見方・考え方」を例示している。(P.26等)	・各章の導入に「学習のはじめに」を設定し,各章の探究課題へとつなげている。(P.38-P.39等)	・全体を4編構成とし,第1編で大項目A「私たちと現代社会」,第2編で大項目C「私たちと政治」,第3編で大項目B「私たちと経済」,第4編で大項目D「私たちと国際社会と諸課題」,持続可能な社会の実現に向けた内容を示している。	・本文に関連のある資料や写真を掲載している。
	・深い学びを実現するためのコーナー「アクティビティ」(P.137等)や「情報スキルアップ」を設定している。(P.92等)	・見開き1ページに学習内容の要約や説明を行う「確認」や「表現」を設定している。(P.40-P.41等)	・中学生が社会参画するためのページ「明日に向かって」を設定している。(P.72-P.73)	・第1章で文化について扱い,年中行事や伝統文化などについて取り上げている。(P.18-P.21)	・各章の「学習のはじめに」や「まとめとふり振り返り」では,キャラクターが吹き出しで資料を読み取る視点を示したり,学習活動を促したりしている。(P.6-P.7,P.36-P.37等)
	・見開き1ページの中に,その時間の学習内容と関連した資料を提示し,その資料を読み取る視点や学習活動を示す「資料活用」を設定している。(P.43等)	・各章末に思考ツールを活用したり話し合い活動等を設定したりする「まとめとふり振り返り」を設けている。(P.126-P.127等)	・第4編第2章で持続可能な社会を実現するための提案をレポートにまとめ,発表する活動を設定している。(P.222-P.230)	・巻末に高校の公民科「公共」,他教科との学習の関連を示し,見開き1ページの下部に,その時間の学習内容と他分野との関連を示している。(P.27)	・資料には見開きごとに通し番号を付けている。
		・「見方・考え方」を働かせて,学習内容の理解を他者との対話を通して深めるための「アクティビティ(学び合い)」を設定している。(P.31等)	・社会参画を疑似体験するシミュレーション学習「チャレンジ公民」を設定している。(P.124-P.125)	・二次元コードを示し,インターネットを用いて学習に役立つ情報や動画,単元のまとめで振り返りができる「ポートフォリオ」等を掲載している。(P.7等)	

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 社会（公民的分野）

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
自由社	・見開き1ページを導入資料,学習課題,本文,「ここがポイント!」という流れで構成している。(P.2-P.3等)			・全体を7章構成とし,序章と第1章で大項目A「私たちと現代社会」,第2章・第3章で大項目C「私たちと政治」,第4章で大項目B「私たちと経済」,第5章で大項目D「私たちと国際社会と諸課題」,終章で持続可能な社会の実現に向けた内容を示している。	・本文に関連のある資料や写真を掲載している。
	・学習した知識・技能を発展させ,理解を深めさせるための「もっと知りたい」という欄を設定している。(P.178-P.179等)			・第1章と巻末で文化について扱い,年中行事や伝統文化などについて取り上げている。(P.11-P.13,P.260-P.261)	
	・発展的な内容を話し合ったり調べたりする「やってみよう」を設定している。(P.185等)	・各章末の「学習のまとめと発展」では,複数設定された課題の中から一つを選択し,400字でまとめる活動を行っている。(P.42等)	・終章で,「持続可能な日本社会をつくるために私たちは何ができるか」について卒業論文を作成するページを設定している。(P.216-P.217)		
			・章末や節末に学習内容に関連した作業や話し合い活動を行う「アクティブに深めよう」を設定している。(P.162-P.163,P.198-P.199等)		
育鵬社	・見開き1ページを導入資料,学習課題,本文,「確認」「探究」という流れで構成している。(P.80-P.81等)	・資料に関する「見方・考え方」の欄を設け,「見方・考え方」を働かせる視点を示している。(P.48等)	・各章の導入に「入り口」を設定し,各章の探究課題へとつなげている。(P.10-P.11等)	・全体を5章構成とし,第1章で大項目A「私たちと現代社会」,第2章・第3章で大項目C「私たちと政治」,第4章で大項目B「私たちと経済」,第5章で大項目D「私たちと国際社会と諸課題」,「社会科のまとめ」としてよりよい社会の実現に向けた内容を示している。	・本文に関連のある資料や写真を掲載している。
	・学習した知識・技能を系統的に習得させるため,「学習を深めよう」を設定している。(P.15等)	・見開き1ページに学習内容のまとめや表現を行う「確認」「探究」を設定している。(P.13等)	・中学生が社会参画している具体的な事例を写真等を使用して取り上げている。(P.17)	・第1章と巻末で文化について扱い,年中行事や伝統文化などについて取り上げている。(P.20-P.25,P.214-P.215)	・「入り口」や「これから」では,キャラクターが吹き出しで資料を読み取る視点を示したり,学習活動を促したりしている。(P.172-P.173)
	・発展的な内容を話し合ったり調べたりして取り組む「TRY!」を設定している。(P.17等)	・各章末に思考ツールを活用して,各章の学習内容と関連した課題を解決する活動である「これから」を設定している。(P.114-P.115等)	・「社会科のまとめ」として「よりよい社会」実現のためにテーマを設定し,レポートを作成・発表するページを設定している。(P.207-P.213)		・資料には見開きごとに通し番号を付けている。
		・本文の学習内容に関連した作業や話し合い活動を行う「やってみよう」を設定している。(P.30等)	・「やってみよう」の活動として社会参画を疑似体験するシミュレーション学習を設定している。(P.104-P.105等)	・各章のはじめに二次元コードを示し,インターネットを用いて「学習に役立つウェブサイト(公民)」を掲載している。	

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 地図

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
東書	・巻頭に「この地図帳の地図記号」を掲載している。(P.4)	・世界の各州では、土地利用,気温と降水量,人口密度,鉱工業などの主題図を掲載している。(P.19-P.20,P.65等)	・SDGsをテーマとした特集ページや、SDGsに関連がある図版を掲載している。(P.8,P.13-P.14等)	・地理的分野の学習の流れに沿って「世界全体,日本全体の資料」「世界の各州,日本の各地方の一般図と資料」「統計と索引」のまとまりで構成されている。	・書籍のサイズはA4判である。 ・地図帳の読み取り方や活用方法を説明している。(P.4-P.7)
	・資料活用コーナーを新設し,地図の活用や学習を深めるためのヒントとなる問いを提示している。(P.24,P.56等)	・日本の各地方では,地形,降水量,人口分布,土地利用などの主題図を掲載している。(P.81-P.82,P.89-P.90等)	・地理的分野の学習との連携を図るとともに,歴史的分野,公民的分野の学習とも連携した資料を掲載している。(P.87-P.88,P.91等)	・世界の各州,日本の各地方ともに,学習テーマに沿った学習をする際に活用できる資料を掲載している。(P.39-P.40,P.114-P.116等)	・授業で指示しやすいように,資料には見開きでの通し番号が付けられている。(全編)
	・環境問題や防災,文化,平和などの諸課題に関わる資料を掲載している。(P.13-P.14,P.135-P.136等)	・関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設け,複数の資料に関連させて見ることができる。(P.13,P.15-P.16等)	・国際社会の結びつきや対立,環境問題,少子高齢化など,現代の諸課題に関連する資料を掲載している。(P.39,P.139-P.142等)	・祭りや伝統工芸品,文化的特徴がある街並みなど,我が国の伝統や文化の資料を掲載している。(P.118,P.130等)	・特別支援教育への配慮やユニバーサルデザインの取組がなされている。(全編)
	・巻末の「日本の周辺」に,日本の東西南北端や近隣諸国と領土をめぐる問題を抱えている島々を地図や写真で示すとともに,日本の排他的経済水域についても示している。(P.171-P.172)	・デジタルコンテンツでは,地理院地図のほか,GoogleマップやRESASの使い方を解説している。(P.7,P.155)	・歴史や地形を視覚的に捉えるため,「近畿の歴史と治水」「東京の歴史と治水」「江戸・東京の鳥瞰図」など,見開き全体を使った資料を設けている。(P.87-P.88,P.107-P.108等)	・札幌,東京,横浜,京都,奈良,大阪,神戸など,修学旅行でも活用できる地図を掲載している。(P.93-P.94等)	・日本の各地方ごとの一般図は,縮尺を100万分の1に統一している。 ・標高と地形区分で彩色した地図を掲載している。
	・日本で起こりやすい災害や過去の公害に関する資料を掲載している。(P.14,P.135-P.136)	・地理的分野の探究課題に沿って学習する際に活用できる資料を掲載している。(P.37-P.40,P.111-P.116等)	・世界の生活や文化を示す写真や,さまざまな言語の会話例などの資料を掲載している。(P.15-P.16,P.137等)		・陰影や立体感のあるデザインをなくした,フラットデザインを採用している。
帝国	・巻頭に「この地図帳の凡例」を掲載している。(P.4)	・世界の主題図は,国や州ごとに自然環境,人口密度,言語,産業を可能な限り同縮尺で掲載している。	・巻頭ページに,SDGsの観点で,世界全体の課題に関する特集ページを設けている。 ・特にSDGsと関連があると考えられるページや主題図には,専用のアイコンを設けている。(P.32,P.92等)	・学習指導要領(地理的分野)に合わせて,世界は州ごと,日本は地方ごとに地図・資料が構成されている。世界の州,日本の地方はいずれも,「一般図」→「主題図」という配列で構成されている。	・書籍のサイズはA4判である。 ・小学校の地図学習の復習を含めて,地図帳を活用するための方法を示している。(P.4-P.7)
	・地図活用の技能(スキル)が身に付く問いコーナー「地図で発見!」を設けている。(P.6,P.49等)	・日本の主題図は,各地方の冒頭に,自然(地形),降水量,人口分布,農業,工業・交通を掲載している。	・地理的分野以外の学習でも活用できるよう,歴史的分野,公民的分野での活用に対応した主題図のタイトル横にアイコンを付けている。(P.8-P.14,P.109-P.114等)	・世界,日本の資料は地域の特色が偏らずに理解できるよう,多角的に地図・資料が選定されている。	・授業で指示しやすいように,資料には見開きでの通し番号が付けられている。(全編)
	・世界の各州には,自然環境や生活・文化,産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載している。(P.29-P.30,P.47等)	・利用できるデジタルコンテンツを紹介している。(P.4,裏表紙)	・世界各地と日本の経済的な結びつきが分かる資料「日本との結びつき」を掲載している。(P.32,P.35等)	・日本の基本図・拡大図・都市圏図・都市圏に各地の伝統的工芸品や,世界文化遺産を記載している。(P.81-P.152) ・日本の各地に伝わる伝統・文化に関する主題図を掲載している。(P.173-P.174)	・特別支援教育への配慮やユニバーサルデザインの取組がなされている。(全編)
	・日本の領土について,北方領土,竹島,尖閣諸島を写真付きで取り上げて,日本固有の領土であることを明記している。(P.81-P.83,P.95等) ・模式図をもとに,領土・領海・領空や排他的経済水域を示している。(P.197-P.198)	・同縮尺の図を複数用意され,各図の要素を比較したり,重ね合わせたりして考察できる。(P.31-P.32,P.48等)	・少子化・高齢化や資源・エネルギー問題など,現代社会が直面する課題についての資料を掲載している。(P.163-P.164,P.182等)	・社会科の学習以外の教科や総合的な学習の時間で活用できる地図や資料を掲載している。(P.92,P.109-P.110等)	・日本の拡大図(地方別地図)は,100万分の1の縮尺で統一している。 ・日本の地図表現は,地域の生活や産業の様子が分かる土地利用表現と地形が分かる等高段彩表現を併用している。(P.105-106等)
	・日本各地の環境問題の取組,地方ごとに自然災害と防災に関する資料を掲載している。(P.115等) ・防災対策にとどまらず,復旧・復興の視点も取り上げている。(P.142)	・世界地図に,世界の国々と日本の大きさ比べや,緯度や経度による位置関係の比較ができるように,同緯度・同縮尺の日本地図を掲載している。(P.45,P.49等)	・巻頭と巻末の資料図では,紙面のタイトルわきに「主題学習」を設け,そのページで扱うテーマを追究する際の着眼点を示している。(P.9,P.155等)		・世界・日本ともに地形が捉えやすいように,等高段彩表現に陰影表現を合わせた立体感のある地図表現になっている。(全編)

令和 7 年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 数学

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
東書	・章のはじめに、章のとびらを設け、章の学習内容につながる問いかけとともに、学習の流れのガイドを示している（デジタルコンテンツでの映像あり） （第3学年「数と式」式の展開と因数分解）	・データに基づいた問題解決の過程「PPDAC」サイクルが記載されている。（第1学年P.248）	・＜問題をつかむ＞「飲み物を冷たいと感じる温度は、10℃以下といわれています。気温が30℃のとき、保冷バッグに入れたペットボトル飲料を10℃以下に保てる時間を予想しましょう。」 （第2学年「関数」1次関数の利用）	・他教科や伝統・文化・歴史に関する内容のところに、それを示すマークがある。 第1学年P.62など 10ヶ所 第2学年P.56など 7ヶ所 第3学年P.96など 9ヶ所	・二次元コードから「動画」、「マイ教科書・マップ」、「ワークシート」、「シミュレーション」、「対話シート」、「ちょっと確認」、「フラッシュカード」、「ヒントと解答」、「教科リンク」、「Webサイト」のデジタルコンテンツを利用できる。
	・授業のめあてになるような投げかけで、学ぶ方向性を示している（10ヶ所）。 （第3学年「数と式」式の展開と因数分解）	・「PPDAC」サイクルがページ右端に常に記載され、意識させている。（第1学年P.226-P.238）	・＜見通しをたてる＞「表をもとに、10℃以下になる時間を予想する方法を考えてみましょう。」 （第2学年「関数」1次関数の利用）	・素因数分解を正負の数の前に第1学年0章で扱っている。	・空間図形の写真が42ヶ所ある。
	・各学習のはじめに「Q 考えてみよう」を設定して学習のきっかけにするとともに、見通しを立てるための考え方を示している（11ヶ所）。 （第3学年「数と式」式の展開と因数分解）	・1つの題材「現在のチーム分析しよう」を基に5つのQから学習が進められている。（第1学年P.226-P.235）	・＜問題を解決する＞「時間と温度の間には、どんな関係があるとみなすことができるでしょうか。」 「10℃になるまでの時間を予想してみましょう。また、予想した方法を説明してみましょう。」 （第2学年「関数」1次関数の利用）	・連立方程式の解き方では、加減法、代入法の順に扱っている。	
	・「まちがい例」を示し、どこで間違っているかを説明し、正しく計算する問題を扱っている（1ヶ所）。 （第3学年「数と式」式の展開と因数分解）	・単独の題材が6つ設定されている。「運動時間」、「保健だより」、「札幌市の気温」、「ホエールウォッチング」、「上履きの購入」、「睡眠時間」（第1学年P.237-P.241,P.244-P.247）	・＜ふり返る＞「温度は時間の1次関数であるとみなしてよいかどうかをどのように調べたでしょうか。」 （第2学年「関数」1次関数の利用）	・2次方程式の解き方では、平方根、解の公式、因数分解の順に扱っている。	
	・問題数 問125問、節末42問、章末40問、巻末85問 （第3学年「数と式」式の展開と因数分解）	・小学校の学習内容とのつながりが確認できる。 （第1学年P.254-P.255）	・＜深める＞「身のまわりで、1次関数とみなして予想したり、解決したりできるものを探してみましょう。」 （第2学年「関数」1次関数の利用）		
	・二次元コードを読み取ると、そのページの内容に関する練習問題が表示される。 （第3学年「数と式」式の展開と因数分解）	・第1学年「データの活用」において、二次元コードでヒント、解説を見ることができる。	・＜振り返りの視点、ポイント＞ ○新しく学んだこと ○大切だと思った考え方 ○疑問に思ったこと ○次に考えてみたいこと （第2学年「関数」1次関数の利用）		
大日本	・章のはじめに、見開きページで、身の回りの課題と章の学習がつながることを示している。 （第3学年「数と式」式の展開と因数分解）	・「PPDAC」を意識させる題材「自動車の燃費を比べよう」が掲載されている。（第1学年P.256-P.257）	・＜問題を見いだそう＞「どのようにすれば、（富士山の）八合目のおよその気温を求められそうですか。」 （第2学年「関数」1次関数の利用）	・他教科や伝統・文化・歴史に関する内容のところに、それを示すマークがある。 第1学年P.59など 11ヶ所 第2学年P.63など 5ヶ所 第3学年P.74など 13ヶ所	・二次元コードから「シミュレーション」、「外部のウェブサイトへのリンク」、「PDFデータ」、「資料」、「動画」、「インタビュー記事」のデジタルコンテンツを利用できる。
	・学習のはじめに「めあて」を示して、学ぶ方向性を示している（11ヶ所）。 （第3学年「数と式」式の展開と因数分解）	・題材「10cmってどれくらいかな？」を基に学習が進められている。（第1学年P.238-P.243）	・＜解決のしかたを探ろう＞「標高をxkm、気温をy℃とするとxとyの関係をまとめた表をもとにして、xとyの値の組を座標とする点を次の図にとりなさい。」 （第2学年「関数」1次関数の利用）	・素因数分解と累乗の指数を使った表し方を正負の数の前に第1学年1章1節で扱っている。	・空間図形の写真が23ヶ所ある。
	・「活動」を設定し、考え方を深く説明する場面を設けている（16ヶ所）。 （第3学年「数と式」式の展開と因数分解）	・A中学校とB中学校のデータの比較を基に学習が進められている。（第1学年P.244-P.247）	・＜解決しよう＞「点が1直線上に並んでいるとみると、yはxのどんな関数といえますか。また、八合目の気温は何℃になりそうですか。」 （第2学年「関数」1次関数の利用）	・連立方程式の解き方では、加減法と代入法のどちらかを選べるようになっている。	
	・「プラス・ワン」で、補充的な問題を提示している（20ヶ所）。 （第3学年「数と式」式の展開と因数分解）	・バスケットボール選手の身長を基に学習が進められている。（第1学年P.248-P.249）	・＜深めよう＞「ほかの標高の地点の気温を求めなさい。」 （第2学年「関数」1次関数の利用）	・2次方程式の解き方では、因数分解、平方根、解の公式の順に扱っている。	
	・「学びにプラス」で発展的な内容を紹介し、高校や身の回りの生活につなげている（2ヶ所）。 （第3学年「数と式」式の展開と因数分解）	・単独の題材が3つ設定されている。「都道府県別の学校数」、「ダイビングツアー」、「ライバル投手の攻略法」（第1学年P.250-P.251,P.258,P.262）	・＜振り返りの視点、ポイント＞ ○解決の過程や結果をふり返って、新しく学んだことをまとめ、疑問に思ったことやもつと調べたいことをあげる。 （第2学年「関数」1次関数の利用）		
	・問題数 問(Q)129問、節末44問、章末29問、巻末56問 （第3学年「数と式」式の展開と因数分解）				

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 数学

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
学図	・章の前に、「ふりかえり」を設け、下学年の学習内容を示すとともに、章のはじめに章のとびらを設け、日常生活の中から学習内容につながる疑問を示している。 (第3学年「数と式」 式の展開と因数分解)	・データに基づいた問題解決の過程「PPDAC」サイクルが記載されている。(第1学年P.265)	・＜問題を見つけよう＞「湯を沸かしているとき、湯の温度が70℃になったかどうかを知るにはどうしたらよいでしょうか。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・関連する教科が示されている。(第3学年P.182)	・二次元コードから、「アニメーション」、「活動」、「データ」、「映像」、「ふりかえり」、「チャレンジ」、「バトロール隊」、「別の解き方」、「解答」、「リンク」のデジタルコンテンツを利用できる。
	・各学習のはじめに、「Question」を設定して学習のきっかけとするとともに、生徒の発言により、問題解決のための見通しをもたせている(6ヶ所)。 (第3学年「数と式」 式の展開と因数分解)	・1つの題材「ルーラーキャッチ」を基に学習を進められるようになっている。(第1学年P.244-P.256)	・＜実験して考えよう＞「水を熱し始めてからx分後の水温をy℃としてxとyの関係を調べたところ、次の表のようになりました。このとき、水が70℃になるのは何分後になると予測できるでしょうか。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・各領域の前に「ふりかえり」がある。	・空間図形の写真が25ヶ所ある。
	・内容の区切りになりそうなまとめで「目標」を示し(6ヶ所)、「どんなことがわかったかな」で整理している(6ヶ所)。また、「次への課題へ！」で新たな疑問を示している(8ヶ所)。 (第3学年「数と式」 式の展開と因数分解)	・単独の題材が5つ設定されている。「東京の最高気温」、「堺市の最高気温」、「都道府県人口」、「家庭学習時間」、「スキージャンプ」(第1学年P.252、P.258、P.261-P.263、P.266、P.271)	・＜グラフに表してみよう＞「xとyの関係はどのようなグラフになるでしょうか。表の対応するx、yの値の組を座標とする点を、左の図にかき入れてみましょう。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・素因数分解を正負の数の学んだあとの第1学年1章4節で扱っている。	
	・「正しいかな？」として、誤答例を示し、正しいかどうか確かめる問題を取り扱っている(1ヶ所)。 (第3学年「数と式」 式の展開と因数分解)	・二次元コードでデータを見ることができる。	・＜説明してみよう＞「このまま水を熱し続けたとき、水温が70℃になるのは、熱し始めてから何分後と考えられるでしょうか。その求め方を説明してみましょう。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・連立方程式の解き方では、加減法、代入法の順に扱っている。	
	・「チャレンジ」として示された二次元コードを読み取ると、関連する練習問題が表示される(7ヶ所)。 (第3学年「数と式」 式の展開と因数分解)	・小学校の学習内容が確認できる。(第1学年P.242)	・＜式に表して考えよう＞「このグラフが2点(0, 16)、(6, 52)を通る直線と考えて式に表し、水の温度が70℃になるのは熱し始めてから何分後かを求めてみましょう。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・2次方程式の解き方では、因数分解、平方根、解の公式の順に扱っている。	
	・問題数 問121問、節末116問、章末48問、巻末33問 (第3学年「数と式」 式の展開と因数分解)		・＜新たな問題を見つけよう＞「お湯を冷ますときも1次関数といえるのかな。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)		
教出	・章の前に、「・・・を学習する前に」を設け、章のはじめに、章の学習内容に関連する既習の問題を示すとともに、章とひらを設け、章の学習内容と日常生活や社会との関連を示している。 (第3学年「数と式」 式の展開と因数分解)	・データに基づいた問題解決の過程「PPDAC」サイクルが記載されている。(第1学年P.248)	・＜問題を見いだす、問題をつかむ、見通しを立てる＞「(文化祭の案内状の印刷をA社とB社の)どちらの会社に依頼すると、印刷料金が安くなるでしょうか。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・他教科や伝統・文化・歴史に関する内容のところに、それを示すマークがある。 第1学年P.19など 6ヶ所 第2学年P.140など 2ヶ所 第3学年P.35など 7ヶ所	・二次元コードから、「操作」、「動画」、「統計ツール」、「資料」のデジタルコンテンツを利用できる。
	・各学習のはじめに、「Q 考えてみよう」などを設定して学習のきっかけとするとともに、生徒の発言により、考え方の手がかりを示している(10ヶ所)。 (第3学年「数と式」 式の展開と因数分解)	・「PPDAC」を意識させる題材「滞空時間の長い紙コプターを作ろう！」が掲載されている。(第1学年P.250-P.264)	・＜問題を解決する＞「印刷枚数をx枚としたときの印刷料金をy円とすると、A社とB社それぞれについて、xとyの関係をグラフに表してみましょう。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・各章の前に「学習する前に」で、これまでに学んだことを振り返る問題がある。	・空間図形の写真が41ヶ所ある。
	・「まちがい」として誤答例を示し、どこが間違っているかを説明し、正しく計算する問題を取り扱っている(1ヶ所)。 (第3学年「数と式」 式の展開と因数分解)	・題材「滞空時間の長い紙コプターを作ろう！」を基に2つのQで学習を進められるようになっている。Q1「羽の長さを何cmにするとよいのかな？」Q2「羽の幅を何cmにするとよいのかな？」	・＜ふり返る＞「これまでの学習をふり返って、表、式、グラフのよさについてまとめてみましょう。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・素因数分解と累乗の指数を使った表し方を正負の数の前に第1学年1章で扱っている。	
	・「もどって確認」として、下学年で学習した類似の問題の解き方を示している(4ヶ所)。 (第3学年「数と式」 式の展開と因数分解)	・「PPDAC」を意識したデータの活用方法が具体的に記載されている。(第1学年P.268-P.269)	・＜深める＞「新しい印刷会社であるC社について、次のことがわかりました。A社とB社の印刷料金と比べてみましょう。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・連立方程式の解き方では、加減法、代入法の順に扱っている。	
	・節末と巻末に、学習した内容のページを示し、振り返ることができるようにしている。 (第3学年「数と式」 式の展開と因数分解)	・単独の題材が2つ設定されている。「50m走の記録」「どんな速さで練習すればよいのかな？」(第1学年P.265-P.266、P.286)	・＜振り返りの視点、ポイント＞ 学習したこと、のよさ、大切だと思った見方・考え方、数学の楽しさ (第2学年「関数」1次関数の利用)	・2次方程式の解き方では、因数分解、平方根、解の公式の順に扱っている。	
	・問題数 問(「たしかめ」「問」)117問、節末48問、章末40問、巻末120問 (第3学年「数と式」 式の展開と因数分解)	・小学校の学習内容が確認できる。(第1学年P.248)			

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 数学

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
啓林館	・章のはじめに、日常生活に関わる課題を示すとともに、各節のはじめに、その節で学習する内容に関わる課題を示している。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・題材「滞空時間の長いボンをつくらう」を基に2つのQで学習を進められるようになっている。Q1「長方形の紙の長さはどうちがいがいいのかな」Q2「長方形の紙の幅はどうちがいがいいのかな」(第1学年P.220～P.234)	・＜状況を整理し、問題を設定しよう＞「(ダム)の貯水量について」貯水量が650万mlになるのは、何月何日になると推測することができますか。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・素因数分解を正負の数の利用の前に第1学年1章2節の終わりに扱っている。	・二次元コードから、「動かす」、「動画」、「スライドショー」、「リンク」、「プログラミング」、「問題解説」、「補充問題」、「例・例題の解説動画」、「ふりかえりCBT」、「前学年までのまとめ」のデジタルコンテンツを利用できる。
	・学習のはじめにめあてで、学習の方向性を示している(11ヶ所)。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・考えるための手順が1～4で記載されている。1.「調べたいことを決めて、そのように解決するか考えよう」2.「必要なデータを集めよう」3.「データの傾向や特徴を調べよう」4.「結論をまとめよう」(第1学年P.220～P.234)	・＜解決の見通しを立てて、問題を解決しよう＞「図で並んだ点のなるべく近くを通る直線が2点(0, 975)、(3, 900)を通るとします。この直線の式を求めなさい。」 「貯水量が650万mlになるのは、何月何日になると推測できますか。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・連立方程式の解き方では、加減法、代入法の順に扱っている。	・空間図形の写真が33ヶ所ある。
	・「ひろげよう」で、学習のきっかけをつくるとともに、見通しを立てるための考え方を示している(5ヶ所)。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・単独の題材が3つ設定されている。「テレビの買い替え」、「出生児数」、「等賞の景品」(第1学年P.235.P.242.P.243)	・＜問題解決の過程をふり返って、気づいたことやもっと調べてみたいことを話しあい、問題を深めよう＞「ガスバーナーで水を熱する実験をしました。熱した時間が5分をこえても水温が同じように変化を続けるとすると、水温が72℃になるのは、熱しはじめてからおおよそ何分後になると推測できますか。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・2次方程式の解き方では、平方根、解の公式、因数分解の順に扱っている。	
	・「説明しよう」、「話しあおう」として、考え方を説明する問題を取り扱っている(4ヶ所)。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・二次元コードでレポート作成やデータの確認ができる。	・＜振り返りの視点、ポイント＞ 「問題解決の過程をふり返って、気づいたことやもっと調べてみたいことを話しあい、問題を深めよう。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)		
	・二次元コードを読み取ると、補充問題が表示される。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・小学校の学習内容が確認できる。(第1学年P.253)			
	・問題数 問116問、節末50問、章末87問、巻末38問 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)				
	・章の前に「ふりかえり」を設け、章の学習に関連する下学年の学習内容や問題を示している。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・データに基づいた問題解決の過程「PPDAC」サイクルが記載されている。(第1学年P.256)	・＜TRY1 水が沸騰する時間を予想しよう＞「水が100℃になるのは、熱し始めてからおおよそ何分後か予想してみましょう。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・各章の前に「ふりかえり」がある。	・二次元コードから、「補充」、「イメージ」、「資料」、「考察」、「探究」のデジタルコンテンツを利用できる。
数研	・各学習内容の導入で、「Qマーク」を設定して学習のきっかけとするとともに、生徒の発言により、問題解決のための手がかりを示している(8ヶ所)。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・題材「A市とB市の気温のデータ」を基に学習が進められている。(第1学年P.232～P.243)	・「TRY1におけるxとyの関係を $y=6x+16$ として、次の問に答えなさい。」 「熱し始めてから10分後の水温を予想しなさい。」 「水温が65℃になるのは、熱し始めてからおおよそ何分後か予想しなさい。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・素因数分解を正負の数の利用の前に第1学年4節2で扱っている。	・空間図形の写真が35ヶ所ある。
	・「TRY」を設定し、学習を深めるための投げかけをしている(5ヶ所)。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・単独の題材が3つ設定されている。「アトラクションの待ち時間」、「靴の仕入れ」、「スマートフォンの使用時間」(第1学年P.246～P.248.P.253.P.255)	・＜TRY2 グラフから読みとれる情報を考えよう＞ 「郵便局に到着する前と郵便局を出発した後のみかさんの進む速さを、グラフから読みとりましょう。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・連立方程式の解き方では、加減法、代入法の順に扱っている。	
	・学習のはじめにめあてで、学習の方向性を示している(12ヶ所)。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・二次元コードでデータの確認ができる。	・「TRY2について、次の問いに答えなさい。」 「xとyの関係を、TRY2のグラフにかき入れなさい。」 「兄はみかさんに、家から何mのところで追いつきますか。また、そのときの時刻を求めなさい。」 「バスの速さが時速42kmであるとき、どのような場所で、バスはみかさんとすれちがいましたか。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・2次方程式の解き方では、因数分解、平方根、解の公式の順に扱っている。	
	・「Link補充」として示された二次元コードを読み取ると、補充問題が表示される(9ヶ所)。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・小学校の学習内容が確認できる。(第1学年P.231)	・＜振り返りの視点、ポイント＞ ○TRY1について、～を求めましょう。また、気づいたことを答えましょう。 (第2学年「関数」1次関数の利用)		
	・問題数 問104問、節末68問、章末30問、巻末62問 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)				

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 数学

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
日文	・章の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、章の学習内容に関連する下学年の内容や問題を示している。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・データの活用法について、手順が5つで示されている。(第1学年P.234～P.235)	・＜数学の問題にしよう＞「(冷蔵庫の値段と毎年かかる電気代を合計した総費用で商品Aと商品Bを比べて、)どのような場合に、どちらの総費用が安くなるでしょうか。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・他教科や伝統・文化・歴史に関する内容のところに、それを示すマークがある。 第1学年P.56など 6ヶ所 第2学年P.143など 3ヶ所 第3学年P.55など 6ヶ所	・二次元コードから、「見る」、「ためす」、「身につける」、「図形のまとめ」、「調べる」、「統計ツール」のデジタルコンテンツを利用できる。
	・章のはじめに、見開きページで、身の回りの課題と章の学習がつながることを示している。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・題材「高知市の気温」を基に学習が進められている。(第1学年P.214～P.226)	・＜見通しをもとう＞「商品Aと商品Bを値段で比べると安いのは商品Aです。しかし、年間の電気代で比べると安いのは商品Bです。以上のことからどのようなことが予想できますか。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・各章の前に「次の章を学ぶ前に」の問題がある。	・空間図形の写真が16ヶ所ある。
	・各学習内容の導入で、「Qマーク」を設定して学習のきっかけとしている(7ヶ所)。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・単独の題材が4つ設定されている。「通学時間」、「練習計画(投球速度)」、「インターネットの利用時間」、「靴の仕入れ」(第1学年P.228～P.229,P.230～P.231,P.232,P.246)	・＜考えよう＞「①のグラフは、商品Aと商品Bのどちらのグラフですか。また、傾きと切片は、それぞれどんな数量を表していますか。」 「もう一方の商品についてもxとyの間の関係を表すグラフを、図にかき入れましょう。」 「商品Aと商品Bのそれぞれについて、xとyの間の関係を式に表しましょう。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・素因数分解を正負の数の利用の前に第1学年1章3節で扱っている。	
	学習の「めあて」(朱書き)を示して、学習の方向性を明らかにしている(12ヶ所)。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・小学校の学習内容の復習問題が記載されている。(第1学年P.213)	・＜話し合おう＞「使用年数で場合分けをして、商品Aと商品Bのどちらの総費用が安くなるかを整理しましょう。また、どのように考えたか説明し伝え合いましょう。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・連立方程式の解き方では、加減法、代入法の順に扱っている。	・二次元コードから、「見る」、「ためす」、「身につける」、「図形のまとめ」、「調べる」、「統計ツール」のデジタルコンテンツを利用できる。
	・「身につける」として示された二次元コードを読み取ると、補充問題が表示される(11ヶ所)。 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)	・第1学年「データの活用」において、二次元コードでデータの確認ができる。	・＜ふり返ろう＞「商品Aと商品Bの総費用を比べるとき、これまでに学んできたどんな方法や考え方が役に立ちましたか。」 (第2学年「関数」1次関数の利用)	・2次方程式の解き方では、因数分解、平方根、解の公式の順に扱っている。	
	・問題数 問147問、節末38問、章末37問、巻末70問 (第3学年「数と式」式の展開と因数分解)		・＜深めよう＞「商品A、商品Bがともに、前ページの表の値段から3万円引きで買える場合、答えは変わってくるでしょうか。」 ・＜振り返りの視点、ポイント＞ 「どんなことがわかったかな、問題を解決するとき、どんな方法や考え方、表し方が役に立ったかな、学んだことがらには、どんなよさがあったかな、次にしたいこと、さらに調べたいことは何かな」 (第2学年「関数」1次関数の利用)		

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 理科

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
東書	・重要語句は黒字ゴシック体の太文字にしてあり,ルビを用いている。(第1学年P.74)	・理科の見方・考え方に関する記述が,マークや「理科の見方・考え方」という語句で視覚的に示されている。(第1学年P.75)	・日常生活や社会と学習内容との関連が示されている。(第1学年P.79,P.90,P.129,P.131,P.143,P.147,P.165,P.166,P.225,第2学年P.77,P.158,P.183,P.279,第3学年P.39,P.135,P.293)	・科学の歴史について紹介する「歴史にアクセス」が単元内にある。(第1学年P.130,P.171,第2学年P.29,P.47,P.61,P.177,P.194,P.217,P.237,P.239,P.242,P.279,第3学年P.38,P.61,P.62,P.101,P.118,P.139,P.151)	・各章に資料,動画につながる二次元コードがある。 (第1学年P.11,P.70,P.139,P.188) (第2学年P.12,P.86,P.166,P.228) (第3学年P.8,P.72,P.126,P.188,P.246)
	・小学校との関連について関連事項ごとにページの右側に記述がある。(第1学年P.74)		・各単元,各章のはじめと終わりに同じ問いかけ「Before & After」が示されており,学習前と学習後の自分の考えがどう変わったのか表現させるものがある。(第1学年P.45,P.61,第2学年P.166,P.223,第3学年P.29,P.46)	・他教科で学習する理科と関連の深い内容を「(教科名)で学ぶこと」として示している。(第1学年P.62, P.75,第2学年P.71,P.144-P.145,P.208,P.218,P.235,P.246,第3学年P.100,P.147,P.202,P.272,P.285,P.302)	・中学生,先生等のイラストがあり,課題を解決するための会話の様子が記述されている。 (第1学年P.24,P.74,P.144,P.196) (第2学年P.16,P.89,P.178,P.232) (第3学年P.12,P.76,P.134,P.202,P.254)
	・単元末に重要語句とその説明,対応のページ数や図表も示された学習の整理を設定している。(第1学年P.132-P.133)		・「探究」の流れが示されている。(第1学年P.③-P.1)	・「お仕事図鑑」でさまざまな職業に就いている人の仕事を学習内容と関連付けて紹介している。 (第1学年P.26,P.59,第2学年P.29,P.221,第3学年P.91,P.153)	
	・章ごとに要点のチェックがある。(第1学年P.90)		・「問題発見」や「仮説」,「分析解釈」など,探究のステップが示されている。(第1学年P.76-P.79,第2学年P.280-P.282,第3学年P.136-P.139)	・防災に関する内容について記述がある。(第1学年P.217-P.218,第2学年P.204,P.221,第3学年P.272-P.275)	
	・確認問題がある(モノクロ)。(第1学年P.134-P.135) ・読解力を高める活用問題がある(モノクロ)。(第1学年P.136)			・自然の恵みと災害の両側面を扱う記述がある。 (第1学年P.205,第2学年P.218-P.219)	
	・実験に係る基本操作の説明が,各単元で必要になるタイミングで掲載されている。(第1学年P.86)			・SDGsに関する内容について記述がある。(第1学年P.31,P.181,第2学年P.113,P.199,P.266,第3学年P.179,P.294,P.295-P.303)	

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 理科

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
大日本	・重要語句は黒字ゴシック体の太文字にしてあり,ルビを用いている。(第1学年P.80)	・各章のタイトルの下に理科の見方・考え方に関する記述がある。(第1学年P.80)	・学習内容に関わる科学の話題を「Science Press」として紹介している。(第1学年P.120,P.129,P.207など,第2学年P.120,P.183など,第3学年P.35,P.265など)	・科学者の業績などを紹介し,科学の発展について紹介する「科学のあしあと」が示されている。(第1学年P.97,P.177,P.228など,第2学年P.27,P.64,P.113など,第3学年P.44,P.68,P.274など)	・各章に資料,動画につながる二次元コードがある。 (第2学年P.20,P.86,P.163,P.242) (第3学年P.33,P.173,P.210,P.234)
	小学校との関連について,単元ごとにまとめて記述されている。(第1学年P.74-P.75)		・日常生活と学習内容との関連を紹介した「くらしの中の理科」が示されている。(第1学年P.25,P.159,P.161,P.165など,第2学年P.171,P.282など,第3学年P.46,P.105,P.202など)	・理科の学習と他教科の学習との関連が「つながる」で示されている。(第1学年P.91,P.126,第2学年P.41,P.182,P.238など,第3学年P.15,P.43など)	・二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツがWeb上でとりまとめられており,目次のページの二次元コードからデジタルコンテンツ一覧にアクセスできる。
	・小学校との関連について,関連事項ごとにページの外側に記述がある。(第1学年P.85)		・各章のはじめに課題が示されている。(第1学年P.80,P.102,P.140,P.234など,第2学年P.38,P.246など,第3学年P.20,P.106など)	・理科と職業との関連が紹介された「Professional」が示されている。(第1学年P.63,P.171など,第2学年P.255,P.289など,第3学年P.27,P.178,P.301など)	・中学生,先生たちのイラストがあり,課題を解決するための会話の様子が記述されている。 (第1学年P.21,P.80,P.144,P.179) (第2学年P.11,P.97,P.160,P.236.) (第3学年P.13,P.95,P.168,P.230)
	単元末に章ごとの重要語句のリストとその説明や図表も示された学習の整理を設定している。(第1学年P.130,P.131)		・「探究」の流れが示されている。(第1学年P.4-P.5,P.268-P.273,第2学年P.4-5,第3学年P.4-P.5)	・防災や減災に関する内容について記述がある。 (第1学年P.233,第2学年P.262,P.266,P.284,P.285など,第3学年P.296-P.300,P.301)	
	・章ごとに要点のチェックがある。(第1学年P.91)		・単元で学習したことを活用して,解決をめざすことができるような「探究活動」が示されている。(第1学年P.64-P.65,P.260-P.261など,第2学年P.72-P.73,P.288-P.289など,第3学年P.76-P.77,P.276-P.277)	・自然の恵みと災害の両側面を扱う記述がある。 (第1学年P.257-P.259,第2学年P.283-P.284)	
	・確認問題がある(カラー)。(第1学年P.132,P.133) ・読解力を高める活用問題がある(カラー)。(第1学年P.134)		・理科の学習の中から,課題研究に取り組める「自由研究」が掲載されている。(第1学年P.276-P.277,第2学年P.296-P.297,第3学年P.334-P.335)	・SDGsに関する内容について記述がある。(第2学年P.287)	
	・実験に係る基本操作の説明が,各単元で必要になるタイミングで掲載されている。(第1学年P.78)				

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 理科

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
学図	・重要語句は黒字ゴシック体の太文字にしてある。(第1学年P.49)	・小単元に関わる理科の見方・考え方の記述が各単元にある。(第1学年P.48)	・学習内容が日常生活に生かされていることについて示されている。(第1学年P.107,P.124,P.143など,第2学年P.91,P.200,P.207,第3学年P.37,P.42,P.92,P.158など)	・日本の伝統的な工業や文化が示されている。(第1学年P.50,P.108,P.120,第2学年P.59,P.200,P.260,P.262など,第3学年P.8-P.9,P.175,P.238)	・各章に資料,動画につながる二次元コードがある。(第1学年P.10,P.48,P.104,P.152) (第2学年P.10,P.76,P.132,P.194) (第3学年P.10,P.68,P.118,P.168)
	・小学校との関連について,章のはじめにまとめて記述されている。(第1学年P.45)		・単元のはじめに,「学びのあしあと」として課題が示されている。(第1学年P.7,P.45など,第2学年P.129,P.191など,第3学年P.7,P.65など)	・他教科との関連について,「つながり」として示されている。(第2学年P.139)	・中学生,先生たちのイラストがあり,課題を解決するための会話の様子が記述されている。(第1学年P.11,P.49,P.106,P.157) (第2学年P.11,P.77,P.133,P.194) (第3学年P.11,P.68,P.119,P.169)
	・単元末に,章ごとの重要な内容についての説明文や図表も示された学習の整理を設定している。(第1学年P.99)		・内容のまとまりごとに,「この時間の課題」が示されている。(第1学年P.104,P.106,P.139など,第2学年P.54,P.76など,第3学年P.84,P.119,P.178など)	・防災や減災に関する内容が記述されている。(第1学年P.234,第3学年P.242)	
	・確認問題がある(モノクロ)。(第1学年P.100)		・単元のはじめに「Can-Do List」で単元で「できるようになりたい目標」が示されている。(第1学年P.45,P.101,P.147など,第2学年P.129,P.191など,第3学年P.65P.161など)	・自然の恵みと災害の両側面を扱う記述がある。(第1学年P.194-P.195,第2学年P.233,P.234-P.235,第3学年P.218-P.219,P.231など)	
	・実験に係る基本操作の説明が,各学年の巻末にまとめて掲載されている。(第1学年P.204)		・探究の過程が,学習内容に応じて示されている。(第1学年P.4-P.5,P.139-P.140,P.157-P.160など,第2学年P.4-P.5,P.11-P.14,P.76-P.80など,第3学年P.73-P.76,P.121-P.124)	・SDGsに関する内容について,「SDGsを意識して脱炭素社会へ」として示されている。(第1学年P.96-P.97,P.196,P.202-P.203,第2学年P.188,P.240-P.241,第3学年P.62,P.112,P.215-P.236)	
			・探究の考え方が説明されている「理路整然」というコーナーが示されている。(第1学年P.66,P.74,P.78など,第2学年P.4-P.5,P.33,P.86など,第3学年P.32,P.75,P.142)		

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 理科

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
教出	・重要語句は黒字ゴシック体の太文字にしてあり,ルビを用いている。(第1学年P.73)	・理科の見方・考え方にに関するヒントになるような記述がある。(第1学年P.70,P.73)	・理科の学習内容について,日常で見られる具体的な事物・現象との関連が「ハローサイエンス」として示されている。(第1学年P.28,P.97,P.177,P.229など,第2学年P.35,P.121P.193,P.241,第3学年P.39,P.78,P.171,P.215,P.271)	・理科の学習内容と日本の伝統文化について取り上げて紹介されている。(第1学年P.113,P.119など,第2学年P.54,第3学年P.190など)	・各章に資料,動画につながる二次元コードがある。 (第1学年P.6,P.72,P.140,P.206) (第2学年P.8,P.80,P.150,P.210) (第3学年P.6,P.68,P.120,P.182)
	・小学校との関連について,章のはじめにまとめて記述されている。(第1学年P.72)		・単元(各章)はじめに単元を通しての課題が「学習前の私」として示されており,単元(各章)終わりに「学習後の私」として,考えの変容を記す欄が示されている。(第1学年P.6,P.21,P.90,P.99など,第2学年P.150,P.159,P.248,P.267など,第3学年P.120,P.131,P.252,P.263など)	・科学技術の発展などに関連した科学者を取り上げたり,科学史を掲載したりしている。(第1学年P.41,P.197,P.245,第2学年P.20,P.21,P.22,第3学年P.89,P.97,P.105,P.326など)	・中学生,先生たちのイラストがあり,課題を解決するための会話の様子が記述されている。 (第1学年P.10,P.73,P.141,P.214) (第2学年P.9,P.83,P.151,P.218) (第3学年P.7,P.69,P.125,P.183)
	・単元末に,重要語句のリストと章ごとのその説明や,対応するページ数,写真や図表が示された学習の整理を設定している。(第1学年P.132,P.133)		・「探究の進め方」で探究の過程が示されている。(第1学年巻頭③～⑦,第2学年巻頭③～⑦,第3学年巻頭③～⑦)	・他教科との関連について,「ブリッジ(教科名)」などとして示されている。(第1学年P.106,P.180,P.274～P.275,第2学年P.77,P.298～P.299,第3学年P.191,P.199,P.281,P.328～P.329)	
	・章ごとに要点のチェックがある。(第1学年P.89)		・「疑問から探究してみよう」で探究的な学習が展開ができる内容が示されてる。(第1学年P.74～P.80,P.149～P.154,P.222～P.226など,第2学年P.64～P.68,P.106～109,P.161～P.164など,第3学年P.45～P.49,P.94～P.96など)	・理科の学習内容について職業やスポーツとの関連が紹介されている。(第1学年P.234,P.242,P.246,第2学年P.22,P.194,第3学年巻頭④,P.115,P.198など)	
	・確認問題がある(カラー)。(第1学年P.134,P.135) ・読解力を高める活用問題がある(カラー)。(第1学年P.136)		・課題を見つけ,探究することができる「自由研究」の欄を設けられており,テーマの例が示されている。(第1学年P.268～P.270,第2学年P.290～P.291,第3学年P.316～P.317)	・防災や減災に関する内容が記述されている。(第1学年P.190～P.195,第2学年P.197～P.199,第3学年P.274～P.281)	
	・実験に係る基本操作の説明が,各単元で必要になるタイミングで掲載されている。(第1学年P.76)			・自然の恵みと災害の両側面を扱う記述がある。(第1学年P.196～P.197,第2学年P.200～P.201)	
				・SDGsに関する内容について,SDGsのアイコンが掲載されている。(第1学年P.195,P.197など,第2学年P.132,P.201など,第3学年P.78,P.215など)	

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 理科

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
啓林館	・重要語句は黒字ゴシック体の太文字にしてあり,ルビを用いている。(第1学年P.137)	・各章のタイトルの下に,理科の見方・考え方に關する記述がある。(第1学年P.20) また,理科の見方・考え方に關してマークで視覚的に示している。(第1学年P.114)	・理科の学習内容について,日常で見られる具体的な事物・現象との関連が示されている。(第1学年P.53,P.92,P.117,P.166など,第2学年P.32,P.81,P.181,P.229など,第3学年P.81,P.159,P.177,P.285など)	・理科の学習内容と日本の伝統文化について取り上げて紹介されている。(第1学年P.72,P.174,P.185など,第2学年P.92,第3学年P.84など)	・各章に資料,動画につながる二次元コードがある。 (第1学年P.3,P.63,P.135,P.200) (第2学年P.4,P.69,P.139,P.209) (第3学年P.4,P.47,P.105,P.172,P.246)
	・「つながる学び」として,章のはじめにまとめて小学校との関連についての記述がある。(第1学年P.136,下,つながる学び)		・単元導入と単元末で同じ問いについて考えさせる「学ぶ前にトライ!」「学んだ後にリトライ!」が示されている。(第1学年P.19,P.63,P.135,P.199,第2学年P.3,P.69,P.139,P.209,第3学年P.3,P.47,P.105,P.171,P.245)	・科学技術の発展などに関連した科学者を取り上げ,科学史を掲載している。(第1学年P.35,第2学年P.10,P.154,P.250など,第3学年P.26,P.177,P.319-P.321など)	・中学生,先生たちのイラストがあり,課題を解決するための会話の様子が記述されている。 (第1学年P.5,P.89,P.139,P.202) (第2学年P.10,P.94,P.143,P.217) (第3学年P.12,P.89,P.110,P.180,P.254)
	・単元末に,章ごとの重要語句とその説明や,対応するページ数,図表も示された学習の整理を設定している。(第1学年P.190,P.191)		・探究の過程が示されている。(第1学年巻頭③～⑥,第2学年巻頭③～⑥,第3学年③～⑥)	・理科の学習内容と他教科の学習内容との関連について「(教科名)と関連」として示されている。 (第1学年P.87,P.96,P.146,P.226など,第2学年P.91,P.96,P.239など,第3学年P.317-318)	
	・章ごとに要点のチェックがある。(第1学年P.149)		・探究の過程を示し,課題を解決できる「探Q実習」が示されており,自分の考えを書き込むことができる「探Qシート」が付いている。(第1学年P.15-P.17,P.139-P.141,巻末シートなど,第2学年P.35-P.37,P.109-P.111,巻末シートなど,第3学年P.23-24,P.197-199,巻末シートなど)	・「お仕事ラボ」として,理科の学習内容について職業との関連が紹介されている。(第1学年P.108,P.213,P.221,第2学年P.53,P.118,P.185,P.253など,第3学年P.91,P.121,P.209)	
	・確認問題がある(モノクロ)。(第1学年P.192,P.193) ・読解力を高める活用問題がある(モノクロ)。(第1学年P.194)		・「みんなで探Qクラブ」として,これまで学んだことをもとにした疑問を探究課題にしたり,仮説を設定させ,探究せたりする内容が記述されている。(第1学年P.59-P.60,P.195-P.196など,第2学年P.65-P.66,P.205-P.206など,第3学年P.97-P.98,P.241-P.242など)	・防災や減災に関する内容が記述されている。(第1学年P.80,P.125,第2学年P.123,P.181,P.234など,第3学年P.139,P.177,P.286など)	
	・実験に係る基本操作の説明が各分野で必要になるタイミングで掲載されている。(第1学年P.126)			・自然の恵みと災害の両側面を扱う記述がある。 (第1学年P.112-P.117,第2学年P.119-P.122)	
				・「SDGs」のマークを示し,SDGsに関する内容が記述されている。(第1学年P.61,P.80,P.125など,第2学年P.53,P.67,P.185,P.241など,第3学年P.177,P.249,P.281など)	

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 音楽（一般）

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
教出	・各学年P.8-9に「学習MAP」が示されている。ポイントとなる音楽記号等を右下に記載している(第1学年 P.11,P.15,P.17,P.21,P.27,P.29,P.33,P.45,P.71,第2・3学年上P.19,P.25,第2・3学年下P.13,P.17,P.21)	・他者と協働しながら表現を工夫したり,音楽や演奏の良さや価値を考えたりする学習を展開するためにキャラクターの吹き出しで具体的な活動内容を示している。 (第1学年P.16,P.25,P.27,P.30,P.31,P.34,P.35,P.37他,第2・3学年上P.14,P.32,P.34,P.37他,第2・3学年下P.17,P.18,P.20,P.30,P.31,P.32,P.33他)	・歌唱教材と鑑賞教材においては,進んで学び合うための活動例(Active!)が示されるとともに,楽曲の良さや魅力についてまとめるコーナーや「表現の仕方を考えてみよう」(話し合おう)が設けられ,創作教材においては教材ごとに作品を発表し交流するなど,主体的・対話的で深い学びを導き出すよう配慮されている。 (第1学年P.16,P.26-P.27,P.47,P.49,P.60,第2・3学年上P.14,P.23,P.43,P.59,P.63,第2・3学年下P.19,P.30-P.33, P.37,P.41,P.50,P.51,P.52)	・我が国の音楽に関する内容は,第1学年で鑑賞教材五つ,歌唱教材四つ,第2・3学年上で鑑賞教材四つ,歌唱教材三つ,第2・3学年下で鑑賞教材二つ,歌唱教材二つが配置されている。	・表紙には,楽器や演奏の様子を手書き風イラストで描いている。
	・合唱の取組について基本的なポイントを5線を用い説明している。(第1学年P.30)	・調べたり,考えたりしたことを整理するページ「Active!」,「表現の仕方を調べてみよう」,「話し合おう」が掲載されている。(第1学年P.16,P.26-27,P.47,P.49,P.60他,第2・3学年上P.14,P.23,P.43他,第2・3学年下P.19,P.52他)	・現代の生徒の生活や心情に即した教材を取り上げたり,写真や学習に関連したWEB上の資料(二次元コード)を用いたりして,生徒の主体的な学びを引き出すよう配慮されている。(第2・3学年上P.68-P.69他)	・「越天楽」では,唱歌を歌おうのコーナーが設置されており,縦書きの楽譜が使用されている。二次元コードで唱歌の模範演奏を聞くことができる(第2・3学年上P.51)	・歌唱・鑑賞・創作で色分けされた「学習MAP」で,学習内容を示し,更に題材間の関連性を示している。(全学年P.6-P.9)
	・鑑賞では,どの時代に作られた作品であるかわかるよう楽曲ごとに示されている。(第1学年 P.45,P.49,P.53,第2・3学年上 P.37,P.41,P.45,P.49,P.53,第2・3学年下 P.35,P.39,P.45,P.49)	・「音楽を形づくっている要素」が「学習の進め方」と「どんな特徴があるかな?」のページに整理して示されている。(第1学年P.62-P.63,第2・3学年上P.62-P.63,第2・3学年下P.53)	・アイコンやマーク,人のイラストや口形のイラストなどで,学習の見通しや活動例などがわかりやすく示されるなど,興味・関心に対する配慮がなされている。(全学年目次及び第1学年P.12-P.13他)	・「私たちのくらしと音楽」では,音楽著作権に触れている。(第2・3学年上P.64-P.65)	・楽曲に対して,学習目標,活動文,用語や記号の説明が,紙面の同じ場所に配置される構成になっている。(第1学年P.20-P.22,第2・3学年上P.16-P.21,第2・3学年下P.12-P.17他)
	・「音楽を形づくっている要素」について図で説明している。(第1学年P.62,第2・3学年上P.62,第2・3学年下P.53)		・「指揮をしてみよう」では,イラストや二次元コードでの模範動画で説明している。(第2・3学年下P.28-P.29)	・「音楽のチカラで人と社会をつなぐ」では,音楽と社会の関わりを示している。(第2・3学年下P.66-P.67)	・写真,図が大きく,視覚的に関心をもつことができる。(第1学年P.25他 第2・3学年上P.15他 第2・3学年下P.66-P.67他)
	・リコーダー,運指,ギターのコードを提示(第1学年 P.65,第2・3学年上P.67,第2・3学年下P.69) 日本と西洋の音楽の歩みを年表で示している(第2・3学年下P.58,P.63)			・「劇場・音楽堂へ行こう!」では,神奈川県立音楽堂について写真を掲載し,身近な施設への興味につなげている。(第2・3学年上P.66)	・色覚等への特性を配慮した判読性・視認性の高い配色やレイアウト,文字を使用している。
	・楽典について掲載している。(第1学年P.88-P.90)			・コンピュータと音楽では,コンピュータと音楽の関わりやネット配信について記載している。(第2・3学年下P.64-P.65)	

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 音楽（一般）

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
教芸	・各学年の学習内容が示されている。(全学年P.8-P.9)歌唱教材では,ポイントとなる音楽記号を右上に記載している。(第1学年P.11,P.13,P.19,P.25,P.31,P.35,P.47,P.71,P.73,P.89,第2・3学年上P.21)	・学習活動を進める上で,「知覚・感受」したことをもとに「思考,判断,表現」を行うためのヒントが,キャラクターの吹き出しによって具体的に示されている。(第1学年P.19-P.21,P.26-P.27,P.32-P.33,P.38-P.39,P.45,P.49,P.54,P.57,P.65,第2・3学年上P.17,P.22-P.23,P.29-35,P.38-39,P.42-P.43,P.46,P.59,P.61,P.65,P.71,第2・3学年下P.28-P.31,P.34,P.36-P.39,P.50,P.53,P.54,P.68,P.89)	・1年間の学びの見通しをもつことができる「学びの地図」や,1年間の学習を振り返ることができる「音楽を形づくっている要素」「音楽の学びを振り返ろう」のページを設けることで,主体的に学習に取り組むことができる。(第1学年P.8-P.9,P.91-P.93,第2・3学年上P.8-P.9,P.91-P.94,第2・3学年下P.8-P.9,P.89,P.96)	・我が国の音楽に関する内容は,第1学年で鑑賞教材三つ,歌唱教材三つ,第2・3学年上で鑑賞教材二つ,歌唱教材三つ,第2・3学年下で鑑賞教材二つ,歌唱教材四つが配置されている。	・表紙には,テーマをもとに,音楽と関わる生徒の気持ちかが表現されたイラストが描かれている。
	・「リズムづくり」や「MyVoice」など,基礎的な学習内容を確認できるように工夫されている。(第1学年P.14-P.17,第2・3学年上P.17,P.23,第2・3学年下P.19)	・曲に対する自分の考えをもち,友だちとの意見交換をして表現や鑑賞の学習を深めるための,「学びのコンパス」が掲載されている。(第1学年P.19,P.26-P.27,P.32-P.33,P.45,P.49,P.54,P.65,第2・3学年上P.16,P.22-P.23,P.29,P.42-P.43,P.61,P.71)	・友だちと意見を交換し,学びを深めることができるよう,各教材において,キャラクターの吹き出しなどでヒントが示されているほか,専門家のメッセージにより自分の考えを広げたり深めたりすることができるよう配慮されている。	・日本音楽のページがまとめられており,導入として「日本音楽入門」のコーナーを設置している。(第1学年P.50-P.51)	・目次と学習内容のページには,歌唱・創作・鑑賞で教材や学習内容を色分けし,教材と学習内容の関連も示している。(全学年P.6-P.9)
	・音楽を形づくっている要素についてイラスト等を用いてわかりやすく解説されている。(第1学年,第2・3学年上 P.92,P.93)	・音楽を形づくっている要素と音楽を形づくっている要素の働きを確認しようのページで,イラストや図,譜例を使い,それぞれの要素をイメージしやすいように示している。(第1学年P.92-P.93,第2・3学年上P.92-P.93)	・「学びのコンパス」で,曲に対する自分の考えをもち,友だちとの意見交換を通して表現や鑑賞の学習を深めることができる。(第1学年P.19,P.26-P.27,P.32-P.33,P.45,P.49,P.54,P.65,第2・3学年上P.16,P.22-P.23,P.29,P.42-P.43,P.61,P.71)	・「ソーラン節」では図形楽譜を示しており,プロの演奏家からのアドバイスを掲載している。また,二次元コードや授業支援DVDで,プロの実演を見ながら学ぶことができる。(第1学年P.60-P.61)	・楽曲に対して,楽曲の紹介文,学習目標,活動文,音楽を形づくっている要素,考えたいポイント,用語や記号の説明が,同じ場所に配置された紙面構成になっている。(第1学年P.24-P.25,P.28,第2・3学年上P.20-P.21,P.24,第2・3学年下P.12-P.15,P.20-P.21他)
	・楽典について,「音楽の約束」というタイトルで示している。(第1学年P.94-P.97,第2・3学年上P.95-P.97)	・各学年の題材ごとに音楽を形づくっている要素を題材の下部に文字で示している。	・二次元コードのデジタルコンテンツが各題材に用意されており,特に創作においては創作ツールが用意されており,創作がスムーズにでき,クラス全体にも共有できるようになっている。(第1学年P.21他)	・「越天楽」では,唱歌を歌おうのコーナーが設置され,5線の楽譜で示されている。二次元コードで唱歌の模範演奏を聞くことができ,雅楽の各楽器の音も聴くことができる。(第1学年P.55)	・文章や楽譜などの近くに,イラストや写真を配置する場合は,学習上必要な情報に確実に着目できるよう,シンプルな配置となっている。
	・日本と西洋の音楽の歴史を年表で示し,写真を用いている。(第2・3学年下P.90-P.95)		・ポピュラー音楽のジャンルでは海外偏と日本偏に分け,CDジャケットを掲載している。(第2・3学年下P.60-P.63)	・「ルールを守って音楽を楽しもう!」では音楽著作権に触れている。(第2・3学年下P.64-P.65)	・全体に区別しやすい配色を用いながら,学習上の必要に応じて,形状や濃度を変えている。
			・オペラのページの後に,同じ総合芸術のミュージカルについて,主な作品のイラストと解説を掲載し,興味・関心をもたせる工夫がされている。(第2・3学年上P.52-53)	・生活や社会の中の音や音楽が各学年掲載され,音楽と社会の関わりに触れ,SDGsに関わらせて紹介している。二次元コードで,生活の音が聴けるようになっている。(第1学年P.68-P.69,第2・3学年上P.91,第2・3学年下P.66-P.67)社会を映し出す音楽では,音楽と社会の関わりをイラストで示している。(第2・3学年下P.40-P.41)	・楽譜を含めた大部分のページでユニバーサルデザインフォントが使われている。

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 音楽（器楽合奏）

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
教出	・アルトリコーダーの連指が楽曲に合わせて、ページの端に掲載されている。(P.10-P.14,P.18,P.19)	・他者と協働しながら表現を工夫したり音楽や演奏の良さや価値を考えたりする学習を展開するために、キャラクターの吹き出しで具体的な活動内容を示している。 (P.17,P.27,P.31,P.37,P.43,P.46,P.63)	・管楽器,打楽器,打楽器のまとまりで我が国や諸外国の音楽文化の理解を意図した教材を提示している。(P.8-P.63)	・伝統文化については、篠笛,尺八,箏,三味線,太鼓を取り扱っている。吹きもの,弾きもの,打ちものと分類して掲載しており,和楽器と同様の西洋楽器の紹介を写真やイラストを用いて紹介している。(P.22-P.63)	・ギターコードでは,手でポジションを押さえた写真が使われている。(P.105,P.106)
	・それぞれの楽器の奏法について,写真を用いて示されている。(P.8-P.9,P.16,P.22-P.23,P.25,P.26,P.28-P.29,P.32-P.34,P.36,P.40-P.42,P.45,P.47,48-P.52,P.54,P.58-P.63,P.69,P.83,P.89,P.102-P.106)	・調べたり,考えたりしたことを整理するページ「表現の仕方を調べてみよう」「話し合おう」が掲載されている。(P.30,P.55)	・多様な楽器の組み合わせによるアンサンブル活動を多数掲載している。(P.63-P.97)	・ストリートピアノの紹介を写真と共に掲載している。(P.4)	・各楽器の奏法については,いろいろな角度の写真を掲載している。
	・弾く楽器について,まとめて掲載している。 (P.56,P.57)	・比較しながら,演奏や楽器の構造や音色などについて考える「表現の仕方を調べてみよう」「吹く楽器の仲間たち」「弾く楽器の仲間たち」が掲載されている。(P.30,P.55,P.56-P.57)	・「表現の仕方を調べてみよう」で,既習の楽器(西洋楽器と和楽器)について,音の出る仕組みや表現する旋律の特徴などに着目して調べ,情報を共有する場を設定している。(P.30,P.55)	・各楽器に関する曲が掲載されている。(リコーダー20曲,篠笛6曲など)	・話し合い活動をする場合に用いる表は,楽器ごとに配色を変えている。(P.30,P.55)
	・音楽用語や,記号がまとめて提示されている。 (P.107)		・ギターコードが写真付きで掲載されている。 (P.105-P.106)		
	・箏の奏法について,特に詳しく説明されている。現代に多く用いられる奏法も紹介されている。 (P.45,P.83,P.89)		・各楽器のページでプロの奏者のコメントを掲載している。(P.8,P.22,P.28他)		
	・ギターのコード表が写真で掲載されている。 (P.105-P.106)		・リコーダーのタンギング練習の「リズムでゴー」や,リコーダーの教材で「サザエさん」や「風の通り道」など,生徒に身近で演奏しやすいものを掲載している。(P.10,P.76,P.77他)		
教芸	・アルトリコーダーで用いる奏法を二次元コードで確認できるよう提示されている。(P.13)	・学習活動を進める上で,「知覚・感受」したことをもとに思考,判断,表現を行うためのヒントがキャラクターの吹き出しによって具体的に示されている。 (P.55,P.81,P.85)	・巻頭の特集ページや,各楽器のページでプロの奏者のコメントを掲載している。 (P.2,P.4,P.34,P.44,P.50)	・伝統文化については,箏,三味線,太鼓,篠笛,尺八を取り扱っている。(P.34-P.62)	・イラストや写真などを多く用いている。
	・楽曲に合わせてポイントとなる運指が,ページの端に掲載されている。(P.14,P.18,P.23,P.24)	・曲に対する自分の考えをもち,友だちとの意見交流をして表現や鑑賞の学習を深めるための「学びのコンパス」が掲載されている。 (P.17,P.55,P.81,P.85)	・友だちと意見を交流し,学びを深めることができるよう,知識・技能に関するコラムやキャラクターの吹き出しなどでヒントが示されている。 (P.15,P.55,P.81,P.85)	・箏については,楽譜だけではなく創作のページを「My Melody」として設定している。(P.43)	・クラシック奏者だけではなく,J-POP,アーティストの楽曲や,写真,コメントを掲載し,紹介している。 (P.68,P.69)
	・掲載されている楽器の基本的な奏法について,二次元コードで確認することができる。 (P.29,P.33,P.37,P.41,P.47,P.49,P.53,)	・音楽を形づくっている要素を題材の下部分に文字で示している。(P.16,P.54,P.80,P.84)	・和楽器を学習する際に,唱歌や口三味線を歌う活動が示されている。 (P.40,P.42,P.49,P.53,P.54,P.58,P.92-P.95)	・各楽器に関する曲が掲載されている。(リコーダー14曲,篠笛3曲など)	・ギターコードでは,手でポジションを押したイラストが使われている。(P.102,P.103)
	・音楽の記号や用語等が提示されている。(P.106)		・「バンドの世界をのぞいてみよう」で,バンドの写真とスコア(楽譜)の一部を掲載している。(P.68-P.69)		
	・ギターのコード表がイラストで掲載されている。 (P.102-P.103)				

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 美術

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効な挿し絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
開隆堂	・基礎的な技法が掲載されている。 (第1学年P.14等) (第2・3学年P.24等)	・鑑賞の手がかりとなる言葉が掲載されている。 (第1学年P.14等) (第2・3学年P.10等)	・題材ごとの目標が掲載されている。 (第1学年:15題材中11題材P.10等) (第2・3学年:23題材中20題材P.10等)	・伝統的な美術や美術文化について掲載している。 (第1学年P.26-P.33等) (第2・3学年P.8-P.9等)	・原寸大で作品が掲載されている。 (第1学年P.29-P.30等) (第2・3学年P.19等)
	・基礎的な技法についての二次元コードが掲載され,デジタルコンテンツが用意されている。 (第1学年P.10等) (第2・3学年P.10等)	・生徒作品の作者の言葉が掲載されている。 (第1学年:15題材中8題材P.12等) (第2・3学年:23題材中14題材P.15等)	・鑑賞の学習を通した美術と社会の関連性が掲載されている。 (第1学年:表紙・裏表紙P.40-P.51等) (第2・3学年P.46-P.47等)	・SDGsと美術の関わりについて掲載している。 (第1学年P.25等) (第2・3学年P.51等)	・紙の工夫がされている。 (全学年 表紙:モザイクタイルの質感を感じたり,絵の具を塗り重ねた筆跡を感じさせる凹凸がある等用紙が工夫されている)
	・学習内容と関連する技法について,巻末の「学びの資料」の掲載箇所が示されている。 (第1学年P.10等) (第2・3学年P.10等)		・生活の中にある美術に関する具体例が掲載されている。 (第1学年:P.8-P.9等) (第2・3学年P.2-P.5等)		・見開きを使った作品が掲載されている。 (第1学年P.26-P.31) (第2・3学年P.122-P.127)
	・安全に活動するための注意事項が示されている。 (第1学年P.69等)		・ピクトグラムやパッケージデザインなどについて掲載されている。 (第1学年P.40-P.43等) (第2・3学年P.64-P.73等)		
光村	・別冊資料として基礎的な知識及び技法を掲載している。	・鑑賞の手がかりとなる言葉が掲載されている。 (第1学年P.12等)	・題材ごとの目標が掲載されている。 (第1学年P.16等) (第2・3学年P.8等)	・道徳科の学習とのつながりや,SDGsの17の目標との関連を示している。 (第1学年P.22,32等) (第2・3学年P.26,46等)	・原寸大で作品が掲載されている。 (第1学年P.58) (第2・3学年P.32-P.33等)
	・別冊資料に基礎的な知識及び技法の二次元コードが掲載され,デジタルコンテンツが用意されている。	・形や色彩,材料など,作品を鑑賞するときに着目すべきポイントが示されている。 (第1学年P.23等) (第2・3学年P.11等)	・生徒のインタビュー動画や体感的に鑑賞できる二次元コードが掲載されている。 (第1学年P.16等) (第2・3学年P.8等)	・他教科の学習とのつながりをコラムで紹介している。 (第1学年P.31等) (第2・3学年P.15等)	・作品全体を見開きや観音折りの大型図版で掲載している。 (第1学年P.36-P.41) (第2・3学年P.60-P.65)
	・著作権や肖像権,安全指導など活動中の注意事項が示されている。 (第2・3学年P.94等)	・美術鑑賞を広げる言葉が示されている。 (第1学年P.68-P.69等)	・グラフィックデザイン,パブリックアート,建築物など生活の中にある美術に関する具体例が掲載されている。 (第1学年P.46-P.65等) (第2・3学年P.68-P.93等)	・伝統や文化を学ぶための写真や資料が掲載されている。 (第1学年P.28-P.29等) (第2・3学年P.27-P.42等)	・現物と似たような風合いの用紙で作品を掲載している。 (第2・3学年P.27-P.42)
		・生徒作品の作者の言葉の掲載 (第1学年:16題材中10題材P.17等) (第2・3学年:19題材中9題材P.11等)			
日文	・基礎的な知識・技法が掲載されている。 (第1学年P.31等) (第2・3学年 上:P.54-P.55等)	・鑑賞の手がかりとなる言葉が掲載されている。 (第1学年P.12等) (第2・3学年 上:P.12等) (第2・3学年 下:P.14等)	・題材ごとの目標が掲載されている。 (第1学年:全題材) (第2・3学年 上:全題材) (第2・3学年 下:全題材)	・伝統的な美術や美術文化について掲載されている。 (第1学年P.24-P.31等) (第2・3学年 上:P.22-P.23等) (第2・3学年 下:P.54-P.59)	・原寸大で作品が掲載されている。 (第1学年P.3-P.4・P.56-P.57) (第2・3学年 上:P.26-P.27) (第2・3学年 下:P.26)
	・基礎的な知識・技法についての二次元コードが掲載され,デジタルコンテンツが用意されている。 (第1学年P.62等)	・生徒作品の作者の言葉が掲載されている。 (第1学年:20題材中13題材P.12等) (第2・3学年 上:17題材中14題材P.13等) (第2・3学年 下:15題材中12題材P.11等)	・鑑賞の学習を通した美術と社会の関連性が掲載されている。 (第1学年P.44-P.45等) (第2・3学年 上:P.10-P.11等) (第2・3学年 下:P.20-P.21等)	・道徳とのつながりが掲載されている。 (第1学年P.18等) (第2・3学年 上:P.10等) (第2・3学年 下:P.5等)	・屏風を実際に折って鑑賞できるように掲載したり色味を本物に近付けた図版を掲載したりしている。 (第1学年P.26-P.29) (第2・3学年 上:P.26-P.27)
	・学習内容と関連する技法について,巻末の「学びを支える資料」の掲載箇所が「参照」として示されている。 (第1学年P.22等) (第2・3学年 上:P.12等)		・グラフィックデザイン,パブリックアート,建築物など生活の中にある美術に関する具体例が掲載されている。 (第1学年P.36-P.55) (第2・3学年 上:P.32-P.53) (第2・3学年 下:P.36-P.53等)	・SDGsと美術の関わりについて掲載している。 (第1学年P.20) (第2・3学年 上:P.42等) (第2・3学年 下:P.40等)	・見開きを使った図版が掲載されている。 (第1学年P.3-P.4等) (第2・3学年 上:P.26-P.29等) (第2・3学年 下:P.2-P.3等)
	・活動中の材料や用具の取扱い等について安全指導を掲載している。 (第1学年P.21等)				

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 保健体育

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効な挿し絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
東書	・「キーワード」を「学習課題」と共に上部に示している。(P.14,P.16,P.18等)	・章末の「学習のまとめ」には,観点に沿った活用問題と自分の生活に活かす問題がある。(P.26,P.54,P.65等)	・学習の導入部分では,「見つける」を提示し,既習内容の確認や身近な生活にある疑問を示している。(P.14,P.16,P.18等)	・学年ごとに,保健分野,体育理論の順で配置している。	・章の始まりの見出しは,半ページで,「学習内容」,「ページ数」,「小学校で学習したこと」,「中・高校で学習すること」,「保健体育の職業」を紹介している。(P.13,P.121等)
	・本文中にある「重要語句」をルビ付きで強調表記している。(P.14,P.17,P.18等)	・各単元の「見つける」,「学習課題」,「課題の解決」,「広げる」では,思考・判断・表現を育成する発問が設定されている。(P.14-P.15,P.16-P.17等)	・各章末に「章末資料」として補足資料を掲載している。(P.26,P.50-P.54等)	・第3学年では,保健分野の項目の合計が13項目であるが,発展などのページを含め,見開き1ページを1時間として16時間分の構成となっている。	・重要語句は太字で書かれており,全てルビをふっている。(P.14,P.17,P.18)
	・各章末に「学習のまとめ」があり,「キーワードの解説」と「章末問題」のデジタルコンテンツがある。(P.26,P.54,P.65等)	・「?」として,思考するための発問を設定するとともに,「活用する」では,知識・技能を活用し,思考する活動が掲載されている。(P.47,P.61等)	・「Dマーク」のあるページでは,資料やキーワードに関する動画や他教科との関連などをインターネットを使って学習することができるように示している。(P.13,P.15,P.19等)	・教科横断的な関連を一覧にしたページはない。マークで示し,関連ある内容を示している。(P.30,P.93,P.144等)	・イラスト,グラフ,写真を文章に沿って配置している。(P.30-P.31,P.142-P.143等)
	・「巻末スキルブック」には,技能に関することがイラストや写真で示されている。(P.177-P.194)			・SDGsについて記載している。(P.0,P.1)	・語句について補足説明をしている。(P.28-P.29,P.150-P.151等)
				・WEBを使った学習を「Dマークコンテンツ」として一覧にまとめている。(P.8,9)	
大日本	・「キーワード」を下部に示している。(P.5,P.7,P.17等)	・章末に「まとめの問題」のデジタルコンテンツがある。(P.28,P.53等)	・学習の導入部分では,「つかもう」を提示し,自己の生活習慣等について質問し,興味・関心を高める内容を提示している。(P.4,P.6,P.8等)	・学年ごとに,体育理論,保健分野の順で配置している。	・章の始まりの見出しは,半ページで,「学習内容」,「小学校で学んだこと」,「中・高校で学ぶこと」,「3枚の写真」がある。(P.15等)
	・本文中にある「重要語句」を強調表記している。(P.16,P.18,P.20等)	・章の終わりに「学びを活かそう」として,自分の生活に活かす問題がある。(P.52,P.87,P.116等)	・各章末に「章末資料」として補足資料と実生活に活かすためのワークシートを掲載している。(P.26-P.27,P.50-P.52等)	・第3学年では,保健分野の項目の合計が12項目で見開き1ページを1時間として,12時間分の構成としている。	・重要語句を太字で表記している。(P.30,P.32,P.34等)
	・各章末の「学習のまとめ」の中に,「重要な言葉」が説明されている。(P.28,P.53等)	・「話し合ってみよう」,「活用して深めよう」として,思考する活動を設定してある。(P.19,P.23,P.25等)	・学習の中盤に「話し合ってみよう」や「やってみよう」として学習に沿った活動が行うように指示してある。(P.5,P.17,P.19等)	・教科横断的な関連を一覧にしたページはない。マークで示している。(P.30,P.140等)	・語句について補足説明をしている。(P.38,P.110等)
	・章末に「まとめの問題」のデジタルコンテンツがある。(P.28,P.53等)	・「つかもう」として,学習の最初の発問を設定している。(P.16,P.18,P.22等)		・SDGsについての掲載がない。	
	・「学習のねらい」として,学習を通して解決する課題を提示し,「つかもう」において,学習の導入を設定している。(P.16,P.20等)				

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 保健体育

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効な挿し絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
大修館	・「キーワード」の提示と「きょうの学習」において、本時の学習内容を設定している。(P.19,P.21,P.23等)	・章末の「章のまとめ」に、これまで学習したことをもとに、筋道を立てて説明したり、自分の生活に活かす問題として、考えを記入したりする欄を設けている。(P.28-P.29,P.60-P.61等)	・学習の導入部分では、「課題をつかむ」において、イラストやグラフを用いて既習内容の確認や実生活の疑問を選択肢や記述で記入するようにしている。(P.18,P.20,P.22等)	・学年ごとに、体育理論、保健分野の順で配置されている。	・章の始まりの見出しは、見開き1ページで、「学習内容・ページ数」「小学校で学んだこと」「中・高校で学ぶこと」「5～6枚の写真」「章に関連した取組や記事」が示されている。(P.100-P.101,P.126-127等)
	・習得すべき基本用語をルビ付きで強調表記している。(P.6-P.8等)	・「特集資料」や「コラム」等、見方・考え方を働かせて探究活動できるようになっている。(P.18,P.24,P.26-P.27,P.58-P.59等)	・本文で学んだことに関連した「特集資料」や学びを深めるための「クローズアップ」や「コラム」を掲載している。(P.12-P.13,P.58-P.59等)	・第3学年では、保健分野の項目の合計が16項目で見開き1ページを1時間として16時間分となっている。	・重要語句を太字で表記し、ルビをふっている。(P.44,P.55等)
	・各章末に「章のまとめ」があり、○×問題や選択形式、穴埋め、記述式といった出題方法で知識及び技能の定着を図る構成となっている。(P.28-P.29,P.60-P.61等)	・意見を出し合ったり、グループで話し合ったりする場面の設定がある。(P.6,P.10等)	・「web保健情報館」マークがページ下部に示されており、ウェブサイトから参考になる情報を調べることができるように明記している。(P.8,P.21,P.40等)	・教科横断的な関連を一覧にしたページはない。マークと関連する内容を示している。(P.32,P.166等)	・イラスト、グラフ、写真は文章に沿って配置している。(P.38-P.39,P.88-P.89等)
	・実習ページでは、技能ポイントを箇条書きで示している。(P.56-P.57,P.116-P.119等)			・SDGsについての掲載がある。(口絵P.7-P.8)	・語句について補足説明をしている。(P.24-25,P.53等)
				・WEBを使った学習を一覧にしたページはない。	
				・気象情報の適切な利用について、見開き1ページにまとめている。(P.166-P.167)	
学研	・「キーワード」を「学習の課題」の下に示している。(P.16,P.18,P.28等)	・「エクササイズ」として、学習した知識及び技能や資料をもとに、思考したり、話し合ったりする活動を設定している。(P.31-P.32,P.35等)	・学習の導入部分では、「課題の発見」を提示し、事例や情報などから学習課題を示している。(P.28,P.30,P.32等)	・学年ごとに、体育理論、保健分野の順で配置している。	・章の始まりの見出しは、見開き1ページで、「学習内容・進め方」「小学校で学習したこと」「高校で学習すること」に、章に関連したコラム「ひと・もの・こと」がある。(P.42-P.43等)
	・本文中にある「重要語句」を強調表記している。(P.28,P.32-P.33等)	・章末の「章のまとめ」に、観点に沿った活用問題と「生活への活用」として、自分の考えを表記する欄を設けている。(P.68-P.69,P.105等)	・各章末に「章末資料」はないが、活用の場面として「探究しよう」を掲載している。(P.38-P.40,P.22-P.24等)	・第3学年では、保健分野の項目の合計が11項目で見開き1ページを1時間として、13時間分の構成としている。	・重要語句を太字で表記している。(P.16,P.20-P.21)
	・各章末に「章のまとめ」があり、「知識・技能」に関する振り返り・確かめよう・生かそうの構成になっている。(P.41,P.68-P.69等)	・1時間の最後に、「学びを生かす」として、見方・考え方を示し、学習したことを活用する課題や活動を設定している。(P.31,P.35,P.55等)	・学習の最後に「学びを生かす」が提示しており、学習を実生活を結びつける活動が仕組まれている。(P.17,P.19,P.21等)	・教科横断的な関連を一覧にして示している。(P.190-P.191)	・イラスト、グラフ、写真は文章に沿って配置している。(P.28-P.29,P.86-P.87等)
	・実習では、手技の要点と互いに見る視点が提示されており、教え合いのできる構成になっている。(P.124-P.125)	・章末のページでは、探究活動を促している。(P.38-P.40,P.66-P.67等)		・SDGsについての掲載がある。(P.189)	・語句について補足説明をしている。(P.44-P.45,P.160-P.161等)
	・「ウォームアップ」として、事例や情報などの問いから課題を提示し、「学習の課題」で、身に付けることを提示している。(P.16,P.18,P.28等)				

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 技術・家庭（技術分野）

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
東書	・各ページの二次元コードにより、より詳しいコンテンツにアクセスしやすくなっている。	・SDGsと技術の関係を例を挙げながら説明している。(P.10-P.11)	・技術分野の学習方法について、PDCAサイクルや思考ツールなど、具体的な学習方法を示してある。(P.6-P.7)	・練習用題材向けの加工について、見開きページにまとめてある。(P.38-P.51)	・具体的な加工や作業の後、解決策の構想をする構成になっている。
	・各ページ下部に関連する情報が記述してある。	・生徒のイラストを用いて、思考を深めるアドバイスが記述してある。(P.24-P.25等多数)	・課題に取り組む際ヒントとなるつぶやきの記述がある。(P.31,P.53,P.67等)	・材料と加工の技術に関して問題解決を行った事例を3種類挙げている。(P.72-P.77)	・生物育成の技術について、具体的に写真を挙げながら表にまとめられている。(P.91,P.93等)
	・重要な語句について、ゴシック体・太文字で記述している。	・問題解決の評価、改善・修正について、具体的な例を挙げて記述してある。(P.70,P.118,P.178,P.230)	・「安全」「衛生」の欄があり、作業を安全に進めることができるように記述してある。(P.46,P.47,P.50,P.97等)	・生物育成に関して、問題解決を行った事例を3種類挙げている。(P.120-P.125)	・生物育成の一連の作業を写真とともに、見開きにまとめられている。(P.112-P.113)
	・各章の終わりに、学習のまとめとして大切な用語の確認や確かめ問題が示してある。	・冒頭のガイダンスにある技術の最適化について、身近な製品から考え、気付かせるイラストや写真、それに関する記述がある。(P.12-P.21)	・思考ツールの具体的な利用方法を示している。(P.107)	・エネルギー変換に関して問題解決を行った事例を3種類挙げている。(P.182-P.187)	
			・「目標」「学習課題」「キーワード」などのマークを用いて、学習のめあてを示している。	・双方向性のあるコンテンツに関して問題解決を行った事例を3種類挙げている。(P.232-P.237)	
			・生物育成での検査について、屈折糖度計を用いた評価方法の紹介がある。(P.117)	・計測制御のプログラムによる問題解決の事例を3種類挙げている。(P.250-P.255)	
				・技術分野の総合的な問題解決の事例を2種類挙げている。(P.268-P.271)	
教図	・プラスチックの特性と利用例について、表にまとめられている。(P.26)	・レポートにまとめるための事例が二次元コードを活用して示してある。(P.33)	・加工法について別冊にまとめられている。	・ものづくりによる問題解決の事例を、製図とともに4種類挙げている。(P.54-P.63)	・写真やイラストを用いて、用語等の解説とともに、吹き出しを用いて、より考えを深める発問が示してある。(P.77等)
	・防災の観点から構造の工夫に関する記述がある。(P.33)	・技術の問題解決について、身近な製品を事例に、技術の最適化について気付かせる記述がある。(P.8-P.9)	・例をもとに、生活や社会に生じたプラス面とマイナス面が併記してある。(P.68,P.110,P.170,P.244)	・生物育成による問題解決の事例を6種類挙げている。また、事例の中に水産生物の事例が含まれている。(P.96-P.105)	・領域ごとに知識・技能、思考・判断・表現の観点からのまとめと問題が示してある。(P.69,P.111,P.171等)
	・電気エネルギーを光に変換する原理を、3種の製品ごとに図にしてまとめられている。(P.116)	・生徒のイラストの吹き出しを用いて、問題解決や評価等に関するつぶやきを記述している。	・トランジスタの働きについて、事例とともに解説している。(P.147)	・エネルギー変換の技術における問題解決の事例を6種類挙げている。(P.154-P.165)	
	・重要な語句については、ゴシック体で記述している。		・「めあて」マークにより、学習のめあてを示している。	・双方向のあるプログラミングによる問題解決の事例を3種類挙げている。(P.208-P.217)	
	・基礎的・基本的な知識等について、ポイントマークが記述してある。(P.39)			・計測制御のプログラムによる問題解決の事例を2種類挙げている。(P.232-P.239)	

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 技術・家庭（技術分野）

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
開隆堂	・木材の種類について、その用途とともに8種類の解説がある。(P.32)	・問題解決の評価・改善について、具体的な例を挙げて記述してある。(P.62-P.74)	・生物育成の具体的な事例を18種類挙げている。(P.132-P.135)	・材料ごとに加工法について記述してある。(P.90-P.97)	・写真やイラストを用いて、実験や用具・工作機械の使用方法等を解説してある。また、二次元コードのコンテンツとも関連付けられている。(P.31,P.35,P.84,P.97,P.164-P.165,P.177,P.181等)
	・プラスチックの種類やリサイクルマークについて記述してある。(P.38-P.39)	・ガイダンスにおいて、身近な製品を例に挙げて、技術の最適化について考え、気付かせるためのイラスト等の記述がある。(P.16-P.17)	・「学習の目標」、「学習課題」マークにより、学習のめあてを示している。	・ものづくりによる問題解決の事例を6種類挙げている。(P.62-P.73)	・二次元コードのコンテンツの内容が、本文のどの分野の解説が分かるように記号で示してある。
	・森林の育成技術(林業)について記述してある。(P.124)	・イラストの吹き出しを用いて、問題の発見、課題の解決や評価・改善につながるつづきやきの記述がある。		・生物生産の技術による問題解決の事例を8種類挙げている。(P.136-P.147)	
	・各章の終わりに、学習のまとめとして問題が示してある。			・エネルギー変換の技術における問題解決の事例を4種類挙げている。(P.194-P.201)	
	・基礎的・基本的な知識等について「作業のポイント」として記述してある。			・双方向のあるプログラミングによる問題解決の事例を7種類挙げている。(P.256-P.263)	
	・安全マークをつけて、実習中の事故防止に関する内容を記述してある。			・計測制御のプログラムによる問題解決の事例を6種類挙げている。(P.270-P.275)	
				・技術分野の総合的な問題解決の事例を3種類挙げている。(P.290-P.294)	

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 技術・家庭（家庭分野）

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
東書	・2～6編の終わりに3観点に沿って「学習したことを確かめよう」「学習を深めよう」「生活に生かそう」の3段階で構成する「学習のまとめ」を掲載している。(P.110～P.111,P.164～P.165,P.188～P.189,P.216～P.217,P.268～P.269)	・各編の導入が見開きで構成されており、写真・イラストや、見方・考え方の例が示されている。(P.28～P.29,P.116～P.117,P.166～P.167,P.192～P.193,P.220～P.221)	・巻頭の「ガイダンス」、巻末の「生活の課題と実践」で流れを統一して、問題を解決する道筋を具体例を用いて示している。(P.6～P.7,P.272～P.273)	・伝統や文化の内容に「伝統文化」マークを付けて示している。(P.73,P.98～P.103,P.123,P.159等)	・動画やシミュレーション、図鑑などのデジタルコンテンツがある。まつり縫い・スナップ付けについては、右利き・左利きの両方のデジタルコンテンツがある。
	・実習や生活の中で必要な基礎技能を「いつも確かめよう」とタイトルを付けてまとめている。調理の基礎技能(P.64～P.73)、日常着の手入れの基礎技能(P.127～P.129,P.134～P.137)、布を用いた製作の基礎技能(P.146～P.151)	・「生活の営みに係る見方・考え方」について、普段の生活の中で働かせる場面を例示している。(P.18～P.19)	・意思決定のプロセスを食生活、衣生活、消費生活で統一した形式で示している。(P.62～P.63,P.138～P.139,P.204～P.205)	・技術・家庭の他の学習内容と関連する箇所や、他教科と関連する箇所、小学校で学習した内容の関連箇所「リンク」マークを付けて示している。(P.35～P.36,P.63等)	・6つの食品群の各群の食品例や、幼児の物が実物大の写真で示されている。(P.44～P.47,P.230)
	・調理実習では「できたかな？」(P.77,P.83,P.85,P.91,P.93)、布を用いた製作実習において「チェック」(P.153,P.155,P.157等)で押さえた技能のポイントをチェック形式でまとめている。	・生活の課題と実践では、問題解決のプロセスに沿って実践できるように、すべての実践例が問題解決の流れで示されている。(P.276～P.281)	・巻頭の「ガイダンス」に自分の生活をチェックするページを設け、学習前と学習後の変容が見られるようになっている。(P.16～P.17)	・各編の終わりに、家庭分野とSDGsの関わりを取り上げてあり、巻末にはイラストや写真とともにまとめている。(P.104～P.109,P.162～P.163,P.186～P.187,P.214～P.215,巻末④)	・「プロに聞く！」と題した学習内容に係る職業の人のコラムがある。(P.37,P.51,P.63,P.100等)
	・五大栄養素と6つの食品群の関連を折り込みページにつなげるように示している。(P.35,P.41～P.42)	・調理実習のページに1食分の「配膳例」(P.77,P.83,P.85,P.91,P.93)、布を用いた製作実習では「私のオリジナル」(P.152,P.154)、リフォーム・リメイクの例(P.160)が示されている。	・各編ごとに、主体的に調べたり、友だちと協働して比較・検討したりするための発問を、「話し合ってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」等で示している。(P.30,P.50,P.119,P.122,P.125等)		・教科書の下方に生徒の興味を高めるための豆知識として「せいかつメモ」が書かれている。(P.30,P.32,P.34等)
			・各節の始めに学習の導入やウォームアップになる「レッツスタート」があり、主体的に学習を進められるような学習課題が示されており、実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し、創造する資質能力が育まれるように構成している。(P.30,P.32,P.34,P.36,P.38等)		

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 技術・家庭（家庭分野）

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
教図	・章末に、3観点に沿って「確認しよう」、「考えてみよう」、「自分の言葉でまとめよう」の3段階で構成する「章末のまとめ」を掲載している。 (P.34,P.68,P.150,P.196,P.220,P.264)	・各章の導入に、自立度チェックを設けている。 (P.15,P.37,P.71,P.153,P.199,P.223)	・章末に「学びを生かそう」として、自分の生活課題の改善の流れに沿ってまとめて発表する記録レポートの例を示している。 (P.32-P.33,P.66-P.67,P.78-P.79,P.148-P.149,P.194-P.195,P.218-P.219,P.246-P.247,P.262-P.263)	・伝統や文化の内容に「伝統文化」マークを付けて示している。 (P.90,P.144-P.147,P.158等)	・動画やワークシート、関連ウェブサイトを参照できるデジタルコンテンツがある。
	・実習や生活の中で必要な基礎技能を各編に掲載している。調理の基礎技能(P.102-P.111)、日常着の手入れの基礎技能(P.167-P.173)、布を用いた製作の基礎技能(P.178-P.184)	・「生活の営みに係る見方・考え方」について、普段の生活の中で働かせる場面を例示している。(口絵11-P.1)	・各節が「見つめる」、「見つめてみよう」、「学ぶ」、「振り返る」の4ステップ構成になっている。 (P.16-P.19等)	・他教科や小学校、他の学習との関わりを「関連」マークで示している。 (P.20,P.26,P.38-P.39等)	・6つの食品群の各群の食品例が実物大の写真で示されている。(折込③一折込⑥)
	・調理実習例において、材料の一つ一つが6つの食品群の何群にあたるかがマークで示されている。 (P.114,P.116,P.118-P.119,P.122,P.124,P.126-P.127,P.130-P.133,P.138-P.139,巻末学習シール)	・巻末に「生活の課題と実践」の課題例を示してあり、異なる領域同士を組み合わせで課題解決を図る事例も掲載されている。 (P.266-P.275)	・「話し合ってみよう」、「やってみよう」、「調べてみよう」、「観察してみよう」、「考えてみよう」、「発表してみよう」等で学習活動を示している。 (P.19-P.22,P.27,P.31,P.60,P.161等)	・家庭分野にかかわるSDGsを示している。 (P.29,P.174,P.222等)	・「センパイに聞こう！」と題した学習内容に關係する職業の人の意見が掲載されている。 (P.35,P.69,P.151,P.197,P.221,P.265)
	・五大栄養素、6つの食品群、食品成分表を統一した6色で分類し、関連させて示している。 (P.81,P.88,折込①～⑧,p.89)	・調理実習題材のページに「私のアレンジ」としてアレンジ例を示している。 (P.115,P.117,P.123,P.125)			
開隆堂	・章末に、3観点に応じた確認問題としての「学習のまとめ」を掲載している。 (P.86-P.87,P.176-P.177,P.260-P.261,P.230-231,P.290-P.291)	・日常生活の中から問題を見出し、課題を設定できるようにヒントを提示し、主体的に解決方法を考えるための手立てが示されている。 (P.12-P.13)	・巻末の「生活の課題と実践」のページで、各編ごとに課題解決学習の進め方、まとめ方、課題例を示している。 (P.292-P.303)	・伝統や文化の内容に「伝統文化」マークを付けて示している。 (P.158,P.160,P.206,P.208等)	・動画、アニメーションなどのデジタルコンテンツを資料として掲載している。まつり縫い・スナップ付けについては、右利き・左利きの両方のデジタルコンテンツがある。
	・実習や生活の中で必要な基礎技能を各編に掲載している。調理の基礎技能(P.118-P.123)、日常着の手入れの基礎技能(P.194-P.199)、布を用いた製作の基礎技能(P.212-P.217)	・「家庭科分野の学び方と身に付けたい力」として、「主体的」、「対話的」、「深い学び」の具体的とともに、「見方・考え方の視点」が示されている。 (P.6-P.7)	・見開き構成で、本時の学習の目標や学習活動を見通すことができる。実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し、創造する資質能力が育まれるように導入として、身の回りの事から考えられる課題が示されている。 (P.18-P.19,P.22-P.23等)	・小学校で学んだ内容と関連する内容に「小学校」マーク、技術分野や他教科と関連する内容に「他教科」マークを付けて示している。 (P.35,P.45,P.61,P.90,P.102,P.184等)	・6つの食品群の各群の食品例や幼児の手・足を実物大写真で示している。 (P.42-P.43,P.108-P.113)
	・調理実習例のページに「調理方法Q&A」として、調理のポイントがまとめられている。 (P.128-P.135,P.138-P.143,P.146-P.149)	・布作品の実習例にリメイクの例が示されている。 (P.224-P.225)	・「話し合ってみよう」、「やってみよう」、「考えてみよう」、「発表しよう」の4つに分類して学習活動を示している。 (P.19,P.23-P.24,P.28等)	・巻頭や各編の終わりに、家庭分野とSDGsの関わりを取り上げている。 (P.8-P.9,P.82-P.85,P.172-P.175,P.226-P.229,P.256-P.259,P.288-P.289)	・「先輩からのエール」と題した学習内容に關係する職業の人のコラムがある。 (P.32,P.62,P.70,P.72,P.85,P.175,P.229等)
	・五大栄養素、6つの食品群がそれぞれに示されている。 (P.99,P.103)				・教科書の下方に生徒にさらに学んでもらうための情報として「豆知識」が書かれている。 (P.18-P.20等)

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 英語

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
東書	・各Unitの初めに活動目標(GOAL)を示している。 〈具体例〉 (第1学年P.11) U1 活動目標(GOAL) 自分のことを伝えたり,相手のことをたずねたりすることができる。	・各単元末にあるUnit Activityでは,そのUnitで学習したことを使って「目的や場面・状況」を踏まえて発表する言語活動を設定している。 〈単元末の言語活動の例〉 (第3学年Unit1 P.16 Unit Actiity) 日本のポップカルチャーの魅力を伝えよう あなたは留学先で,文化交流イベントに参加し,日本のポップカルチャーを紹介することになりました。外国の人が興味を示しそうなものを選んで,紹介しましょう。 STEP1 ポップカルチャーを紹介しよう STEP2 ポップカルチャーの魅力を伝える原稿を書こう STEP3 原稿を改善し,発表しよう	・題材は,今日的な課題(SDGs,多様な世界の国々・地域,ダイバーシティ,日本国内の国際化)を踏まえた題材を扱っている。 〈具体例〉 防災・安全(第1学年P.98,第3学年P.51-58) 環境・資源エネルギー(第1学年P.91-P.98,第2学年P.102-P.108,第3学年P.31-P.39)	・伝統や文化について(第1学年) U6 A rakugo Performer from the U.K.(日本の伝統芸能の分野で活躍する外国人)(P.71-P.78) U9 Winter Vacation(日本のお正月の過ごし方)(P.103-P.110) Let's Read Gon, the Fox(日本の文学作品を英語で味わう)(P.126-P.128)	・巻末に資料編として,Word List ,Word Room(ジャンル別の補充単語・表現集),ローマ字の書き方,Key Sentences一覧などが掲載してある。(第1学年P.129-P.160)
	・文法事項のまとめが,Grammar for Communicationにおいて,使い方・形・練習で構成され整理してある。 (第1学年P.10,P.28-P.29,P.40-P.41,P.52,P.70,P.80,P.90,P.112,P.122) (第2学年P.18,P.28,P.39,P.58,P.78-P.79,P.98) (第3学年P.28-P.29,P.41,P.70-P.71,P.87)	・言語を使用する「目的や場面・状況」を明確にした言語活動が設定されている。 〈具体例〉 Real Life English (第1学年P.99 レストラン-注文する-) CAN-DO: レストランなどで,注文したり質問に答えたりすることができる。 目的・場面・状況:あなたは旅行先で友達とレストランへ食事に行きました。	・大きなテーマを扱ったStage Activityでは,既習表現を活用し,協働して問題解決にあたる活動が設定されている。 〈具体例〉 (第1学年 P.54-P.55,P.100-101,P.124-P.125) (第2学年 P.40-P.41,P.80-P.81,P.100-P.101) (第3学年 P.42-P.43,P.72-P.73,P.88-P.89)	・伝統や文化について(第2学年) U2 What is local food?(ご当地グルメから考える食文化)(P.19-P.26) U7 What are World Heritage sites and their problems?(世界遺産の価値や意義)(P.89-P.96)	・二次元コードによるデジタルコンテンツ 約1,000語のイラストと音声を収録した補充単語集,教科書3学年分の本文を検索できる用例辞典,世界のデジタルマップなどの情報を搭載している。 各Unitの扉で,Unitのストーリーのダイジェスト版音声,二次元コードのアニメの視聴が提案されている。
				・伝統や文化について(第3学年) U1 What is special about Japanese pop culture ? (日本のポップカルチャー)(P.9-P.16) Learning Japanese in English 世界に広がる日本語,英語俳句(P.18) Starge Activity Discover Japan 日本や郷土の文化などについて詳しい情報を加えて説明する(例:風呂敷)(P.42-43)	・CAN-DOリスト「学習をふり返ろう-CAN-DOリスト」がある。 具体例:第1学年 第1学年の3学期制に対応した目標が5領域別に示されチェック欄が設けてある。 小学校の学習及び1学年末～3学年末の目標が5領域別に示してある。
				・他教科との関連 第1学年 U8【社会】(世界的な問題の解決:環境,貧困)(P.91-P.98), Learning Literature in English【国語】(P.123) 第2学年 Learning Technology in English【技術】(P.38) 第3学年 U2【家庭科】(エシカルファッション:環境や動物にやさしいファッション)(P.19-P.26), Learning Science in English【理科】(P.40), Learning Art in English【美術】(P.60)	・付録として,主語・動詞・名詞の文字と絵が描いてある語順カードを掲載している。(第1学年)

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 英語

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
開隆堂	・各単元(PROGRAM)の初めのページに目標(GOALS)を示している。 〈具体例〉 (第1学年P.21) PROGRAM1 GOALS Scenes 自分や相手のことを伝え合う。 Part1.2 真央たちの学校の様子について理解する。 Action 自分がどんな人物かわくしく伝える。	・PROGRAMの単元末にあるReView & Retell及びActionでは,本文の内容や題材に関連したテーマに基づいた言語活動が設定されている。 単元末の言語活動の例 (第3学年 PROGRAM2 P.24-P.25) Review&Retell 絵や写真を使って本文の内容を振り返り,自分のことばで伝えましょう。 Action カウンセラーになって,みらい中学校の生徒たちの悩みを解決しましょう。	・題材は身近な場面や社会問題,異文化を扱っている。 〈具体例〉 防災・安全(第2学年P.92-P.95) 環境・資源エネルギー(第1学年P.81-P.89,第2学年P.75-P.84,P.97-P.106,第3学年P.79-P.88)	・伝統や文化について(第1学年) PROGRAM4 Let's Enjoy Japanese Food.(P.51-P.59) PROGRAM8 Happy New Year!(P.99-P.107) PROGRAM9 A Trip to Finland(P.109-P.118)	・巻末資料として辞書の使い方,Q&A,ローマ字,不規則動詞活用表等を掲載している。(第1学年P.146-P.153)
	・文法事項のまとめが各Unitの終わり「英語早わかり」にまとめてある。 〈具体例〉 (第1学年 P.27,P.35,P.43,P.59,P.69,P.79,P.89,P.107,P.118,P.133) (第2学年 P.16,P.28,P.40,P.60,P.74,P.84,P.106,P.116) (第3学年 P.16,P.26-P.27,P.38,P.64,P.74,P.88,P.104)	・言語を使用する「目的や場面・状況」を明確にした言語活動が設定されている。 具体例 Power-Up (第1学年P.50 ハンバーガーショップへ行く) 4技能5領域: Listen,やり取り 目的・場面・状況: 夏休みにアメリカに帰国したダニエルは,ハンバーガーショップにやってきました。	・大きなテーマを扱ったProjectでは,既習表現を活用し,協働して問題解決にあたる活動が設定されている。 〈具体例〉 (第1学年 P.45-P.49,P.93-P.97,P.135-P.139) (第2学年 P.41-P.45,P.87-P.91,P.119-123) (第3学年 P.43-47,P.89-P.93,P.112-P.114)	・伝統や文化について(第2学年) PROGRAM2 Koshien Project in Africa(P.19-P.28) PROGRAM3 Taste of Culture(P.31-P.40) Reading2 Friendship beyond Time and Borders(P.92-P.95)	・二次元コードのデジタルコンテンツ 本文,語句音声,アニメーション動画,題材導入動画,文法解説アニメーション,発表モデル動画,単語学習アプリが提示されている。 Our Project(パフォーマンス活動のモデル動画が提示されている。
			・学習者用デジタル教科書 教科書二次元コードのデジタルコンテンツの音声や動画を視聴することができる。	・伝統や文化について(第3学年) PROGRAM1 Japanese Bentos Are Interesting(P.7-P.16) PROGRAM3 Hot Sport Today(P.29-P.38) Our Project レストランにSDGsの取り組みを提案しよう(P.89-P.93) Further Reading Nakamura Tetsu(P.121-P.125)	・CAN-DOリスト「学習をふり返ろう-CAN-DOリスト」がある。 具体例: 第1学年(P.168-P.170) 第1学年の目標が5領域別に示されている。 各単元(PROGRAM),Our Project1-3の目標が示されている。
				・他教科との関連 第1学年 PROGRAM4 Let's Enjoy Japanese Food.【家庭】(P.51-P.58) 第2学年 PROGRAM6 High-Tech Nature【理科】(P.75-P.83),PROGRAM7 Unique Animals【理科】(P.97-P.105),PROGRAM8 A Hope for Lasting Peace【社会】(P.107-P.115) 第3学年 PROGRAM2 Good Night. Sleep Tight.【体育】(P.17-P.25),PROGRAM3 Hot Sport Today【体育】(P.29-P.37), PROGRAM5 The Story of Chocolate【社会】(P.65-P.73), PROGRAM6 The Great Pacific Garbage Patch【社会】(P.79-P.87)	・付録として,動詞の文字と絵が描いてあるアクションカードを掲載している。(第1学年)

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 英語

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
三省堂	・各単元(Lesson)の初めのページに単元末の活動内容(Goal Activity)を示している。 〈具体例〉 (第1学年P.25) Lesson1 Goal Activity プロフィールカードを作って,自己紹介をしよう。	・各単元末にあるGoal Activityでは,そのLessonで学習したことを使って「目的や場面・状況」を踏まえて話したり書いたりする言語活動を設定している。 単元末の言語活動の例 (第3学年Unit1 P.11 Goal Activity 最近夢中になっていることは?) SETTING 海外の中学生が,最近夢中になっていることを紹介する動画を投稿しています。花と一緒に,動画を作って投稿しよう。 Watch 花が話している様子を見よう。 Speak あなたが夢中になっていることや打ち込んでいることを紹介しよう。	・題材はキャラクターの会話を通して提示されている。中学生の視点を反映した題材が選択されている。身の回りの問題や社会的な課題について考えや意見を伝える活動が設定されている。 〈具体例〉 防災・安全(第1学年P.117-P.123) 環境・自然科学(第2学年P.45-P.53,資料P.2-資料P.3,第3学年P.83-P.91,P.108-P.111)	・伝統や文化について(第1学年) Lesson5 Ms.Brown's Family(P.67-P.75) Lesson6 School Life in the U.S.A.(P.79-P.87) Lesson8 Discover Japan(P.105-P.114) Project3 日本の昔の紙芝居「浦島太郎」「かぐや姫」(P.128-P.129) Reading Lesson2 Sleepy Lord Thunder(沖縄小浜島の言い伝え)(P.130-P.132)	・巻末資料として,Further Reading,ローマ字表,基本文のまとめ,不規則動詞活用表,会話表現,単語,ロールプレイシート等を掲載している。(第1学年資料P.1-P.49)
	・文法事項のまとめが,Language FocusでLessonごとにもとめて示してある。 〈具体例〉 (第1学年 P.41,P.51-P.52,P.76,P.88,P.98-P.99,P.114,P.124-P.125) (第2学年 P.12,P.24,P.36,P.54,P.66,P.78-P.79,P.96,P.106-P.107) (第3学年 P.12,P.24,P.34-P.35,P.52,P.64,P.74-P.75,P.92,P.104)	・言語を使用する「目的や場面・状況」を明確にした言語活動が設定されている。 〈具体例〉 Take Action! Talk2 (第1学年P.63 フードコートでの注文) SETTING:ショッピングモールのフードコートで,夏海がサンドイッチを注文しています。 ふり返り:自分の好みを伝えながら,注文することができた。会話の目的を意識しながら,話そうとした。	・大きなテーマを扱ったProjectでは,既習表現を活用し,協働して問題解決にあたる活動が設定されている。 〈具体例〉 (第1学年 P.64-P.65,P.100-P.101,P.128-P.129) (第2学年 P.38-P.39,P.80-P.81,P.108-P.109) (第3学年 P.36-P.37,P.76-P.77,P.106-P.107)	・伝統や文化について(第2学年) Lesson7 Gifts from China(P.87-P.95) Lesson8 Rakugo Goes Overseas(P.99-P.109) Reading Lesson3 A Pot of Poison(原作:狂言「附子」)(P.110-P.113) Further Listening English <i>Rakugo</i> -I Hate Manju(資料P.6-資料P.7)	・二次元コードによるデジタルコンテンツ Lessonのつぎに題材に関する資料映像とOral Introductionが提示されている。 各レッスンの資料映像にテーマやトピックの背景知識が提示されている。 Goal ActivityやProjectのコツを示したモデル動画やWatchアニメーションが提示されている。 4,500語以上の英和辞典,発音図鑑が提示されている。 映像を視聴しながら取り組む活動が随所に設定されている。
				・伝統や文化について(第3学年) Lesson4 Bollywood Movies(インド映画)(P.43-P.51) Lesson5 Translating Culture(漫画・アニメ)(P.55-P.63) Further Reading2 INDIA-A Country of Diversity(資料P.8-資料P.9)	・CAN-DOリスト「What Can I Do? 英語学習にCan-Doリストを活用しよう」がある。 〈具体例〉 第1学年(資料P.50-P.51) 第1学年～第3学年の3年間の目標が5領域別に一覧で示してある。 「1年の学びを振り返ろう」の一覧では,それぞれの目標についてチェックする欄がある。
				・他教科との関連 第1学年 Lesson7 Athletes with Spirit【道徳,保健】(P.91-P.97),Project2 理想のロボット選手権【技術】(P.100-P.101), Lesson9 Emergency Food【総合】(P.117-P.123) 第2学年 Lesson3 My Dream【総合】(P.27-P.35),Lesson4 Safe Clean Water【環境:理科,道徳】(P.45-P.53) 第3学年 Lesson2 The Power of Music【音楽】(P.15-P.23),Reading Lesson1【音楽】(P.38-P.41), Lesson6 Being Fair【道徳】(P.67-P.73)	

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 英語

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
教出	・各単元(Lesson)の初めのページに単元のGoalを示している。 〈具体例〉 (第1学年P.21) Lesson1 Goal(内容理解)生徒たちがすること・好きなことなどを理解する。 Goal(活動)自分の名前や好きなものを,友達と伝え合うことができる。	・各単元末にあるTaskでは,そのLessonで学習したことを使って「目的や場面・状況」を踏まえて話したり書いたりする言語活動を設定している。 単元末の言語活動の例 (第3学年Lesson1 P.18 Task) 1.アヤがバンクーバー滞在中に日記を書いています。本文を読み返し,あてはまる語を口から選んで書こう。 2.新しいクラスメートのことをよく知るために,ペアをつくって質問し合い,相手のことをクラスに紹介することになりました。相手の経験を聞き取り,すばらしい点をクラスの人みんなに知ってもらおう。	・題材は身近な話題,多様な社会・文化,進路や将来についての題材を扱っている。 〈具体例〉 環境・資源エネルギー(第1学年P.117-P.125,第2学年P.23-P.31,P.47-P.50,第3学年P.23-P.31,P.35-P.43)	・伝統や文化について(第1学年) Lesson5 School Life in Two Countries(日本とオーストラリアの学校の過ごし方)(P.77-P.85) Lesson8 Holiday in Hokkaido(P.117-P.125)	・巻末資料として,語形変化のまとめ,不規則動詞変化表,重要構文復習リスト,分野別用語集,Word Listを掲載している。(第1学年P.153-P.176)
	・文法事項のまとめが,単元の最後にHow to Useで解説とともに整理されている。 〈具体例〉 (第1学年P.30-P.32,P.42-P.44,P.56-P.57,P.68-P.69,P.85,P.95,P.107,P.125,P.137) (第2学年 P.19,P.31,P.41,P.59,P.69,P.81,P.93,P.115,P.125) (第3学年P.10,P.19,P.31,P.43,P.61,P.71)	・言語を使用する「目的や場面・状況」を明確にした言語活動が設定されている。 〈具体例〉 Useful Expressions 注文する,依頼する (第2学年P.46) Scene 飲食店 Goal 飲食店で注文することができる。 レストランに入ったキング先生にスタッフが注文をとりきました。 Let's Try! 料理や飲み物をかえて,やり取りの練習をしよう。	・大きなテーマを扱ったProjectでは,既習表現を活用し,協働して問題解決にあたる活動が設定されている。 〈具体例〉 (第1学年 P.70-P.73,P.110-P.111,P.142-P.143) (第2学年 P.44-P.45,P.96-P.99,P.128-P.131) (第3学年 P.46-P.47,P.88-P.89,P.103-P.106)	・伝統や文化について(第2学年) Review Lesson Ms.King's Trip with Her Friend(P.6-P.10) Lesson5 How to Celebrate Halloween(P.61-P.69) Lesson6 Castles and Canyons(P.73-P.81) Lesson8 Rakugo in English(P.107-P.115) Lesson9 Gestures and Sign Language(P.117-P.125) Project3 Let's Introduce Japanese Culture 参考資料Attractive Japanese Cultures(P.130-P.131)	・二次元コード 二次元コードから「まなびリンク」にアクセスし,音声を聞いたり動画を見たりすることができる。
				・伝統や文化について(第3学年) Review Lesson Washoku, or Japanese Cuisine(P.6-P.9) Lesson1 Aya's Homestay in Vancouver(P.11-P.19)	・CAN-DOリスト「Can-Do自己チェックリスト」がある。 〈具体例〉 第1学年(巻末P.⑤-P.⑥) 第1学年学習到達目標が5領域別に示されチェック欄が設けてある。 第2学年学習到達目標及び3年学習到達目標が5領域別に示してある。
			・他教科との関連 第1学年 Lesson7 Symbols and Signs(記号・標識)【社会】(P.99-P.106), Lesson8 Holiday in Hokkaido【社会,理科】(P.117-P.124), Lesson9 A Better World for Everybody【社会,道徳】(P.129-P.136) 第2学年 Lesson1 Assistance Dogs【道徳】(P.11-P.18), Lesson2 Energy Sources for Our Future【社会,理科】(P.23-P.30), Lesson3 Design Makes Change【社会,美術,家庭】(P.33-P.40) 第3学年 Lesson2 The Eagles of Hokkaido【理科】(P.23-P.30), Lesson5 Be Yourself【国語,道徳】(P.63-P.70), Lesson6 Why Do We Have to Work?【国語,社会,家庭】(P.77-P.85)		

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 英語

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
光村	・各単元(Unit)の初めに単元のGoalを(4技能)で示している。 (第1学年P.26-p.27)Unit1 Goal(Listen)会話から,話し手についての情報を聞き取ることができる。 Goal(Write)自己紹介カードに,自分の情報を書くことができる。	・各単元末にあるGoalでは,そのUnitで学習したことを使って「目的や場面・状況」を踏まえて話したり書いたりする言語活動を設定している。 単元末の言語活動の例 (第3学年Unit2 P.26-P.27) Goal グループで参加するコースを決めよう 目的・場面・状況 Kotaたちが,修学旅行2日目にグループで参加する半日コースについて話し合っています。グループの書記になったつもりで聞き,話の内容をメモにまとめましょう。	・題材は身の回りのことから社会,世界のことについて扱っている。実生活に即した場面や材料を扱っている。 〈具体例〉 防災・安全(第2学年P.59-P.67) 環境・自然科学(第3学年P.8-P.17,P.70,P.82-P.83)	・伝統文化について(第1学年) Unit7 The New Year in Japan(日本のお正月)(P.100-P.111)	・巻末資料として帯活動,ローマ字表,英語のしくみ,Word List,基本文のまとめ,CAN-DO List等を掲載している。(第1学年P.145-P.175)また,思考の地図として思考ツールを掲載している。
	・文法事項のまとめが,Active Grammarで文構造や文法事項について,場面と意味の説明,文の形の構成で整理してある。 (第1学年P.56-P.57,P.71,P.95,P.97P.112,P.125) (第2学年P.29,P.41,P.58, P.70,P.80,P.81,P.100,P.110) (第3学年P.38-P.39,P.80-P.81,P.96)	・言語を使用する「目的や場面・状況」を明確にした言語活動が設定されている。 〈具体例〉 Daily Life (第1学年P.82-P.83 注文) Goal: Speak 買い物や注文のやり取りをすることができる。 目的・場面・状況:世界各国の食べ物の屋台が集まるイベントにやって来ました。注文したいものの数や値段を伝えるときには,どう言うといでしょうか。	・大きなテーマを扱ったYou Can Do It!では,既習表現を活用し,協働して問題解決にあたる活動が設定されている。 〈具体例〉 (第1学年 P.58-P.59,P.98-P.99,P.128-P.129) (第2学年 P.46-P.47,P.86-P.87,P.116-P.117) (第3学年 P.44-P.45,P.82-P.83,P.104-P.105)	・伝統文化について(第2学年) You Can Do It!①「わが町観光プラン」をおすすめしよう(P.46-P.47) You Can Do It!③ かるたで地域のPRをしよう(P.116-P.117) Let's Read More①②(P.118-P.121)	・二次元コードによるデジタルコンテンツ 音声,動画,ビクチャーカード,リーディング教材など750点以上のデジタルコンテンツが設定されている。
				・伝統文化について(第3学年) Unit2 Our School Trip(修学旅行)(P.19-P.27) Unit3 Lessons From Hiroshima(P.29-P.37)	・CAN-DOリスト「CAN-DO List」がある。 〈具体例〉 第1学年(巻末P.②-P.③) リストの表の上側に第1学年の目標,下側に第2学年の目標が示されている。 第1学年の領域別の到達目標と各単元Unit等が一覧になり自己評価を中間で3回及び第1学年の自己評価を行う欄がある。
				・他教科との関連 第1学年 World Tour2 世界の中学生【社会】(P.124) 第2学年 World Tour3 世界のワンダーについて知ろう【社会】(P.111), Unit4・5・6【社会,総合(防災・福祉)】(P.49-P.57,P.59-P.67,P.71-P.79), Daily Life【美術】(P.88-P.89) 第3学年 Unit1 Virtual Safari Tour【理科】(P.8-P.17), Unit3 Lessons From Hiroshima【社会,総合】(P.29-P.37), Unit5 My Dreams for the Future【社会,道徳】(P.61-P.69) World Tour2 世界がもし100人の村だったら【社会】(P.84)	

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 英語

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
啓林館	・各単元(Unit)の初めのページにUnit Goalを示している。 〈具体例〉 (第1学年P.11) Unit1 Unit Goal(input)自己紹介を聞いて理解することができる。 Unit Goal(output)自己紹介をすることができる。	・各単元末にあるThink&Speak/Writeでは,そのUnitで学習したことを使って「目的や場面・状況」を踏まえて話したり書いたりする言語活動を設定している。 単元末の言語活動の例 (第3学年Unit1 P.15) Step1 英語の授業で自分が好きな美術作品を紹介することになりました。Emiの発表を聞いて,どんなことを話しているかメモをしましょう。 Step2 あなたも英語の授業で自分が好きな美術作品を紹介することになりました。Step1を参考に,紹介したい美術作品についてメモをしましょう。 Step3 Step2で書いたメモをもとに,あなたが好きな美術作品について発表しましょう。	・題材は日常的な話題(自分を知る,相手を知る)から今日の課題(日本を知る,世界を知る),英語を味わう(外国の物語,日本の物語,伝記,ノンフィクション)題材を扱っている。 具体例 防災・安全(第2学年P.49-P.58) 環境・資源エネルギー(第1学年P.113-P.120,第2学年P.95-P.104,第3学年P.31-P.40,P.63-P.72)	・伝統文化について(第1学年) Unit5 A Fascinating Island in Hawaii(P.55-P.62) Unit6 My Aunt(和菓子)(P.65-P.72) Unit7 Our Sports Day(日本とニュージーランドの運動会の違い)(P.77-P.85)	・巻末付録には,発音とつづり,基本文のまとめ,ローマ字表,Word Box, Word List等を掲載している。 (第1学年P.133-P.159)
	・文法事項のまとめが,Focus on Formで単元の終わりに示してある。 〈具体例〉 (第1学年P.30-P.31,P.41-P.42,P.64,P.74-P.75,P.86,P.99,P.111-P.112,P.124-P.125) (第2学年P.17,P.30-P.31,P.74,P.86-P.87,P.106-P.107,P.121,P.130-P.131) (第3学年P.28-P.29,P.43,P.74-P.75,P.97)	・言語を使用する「目的や場面・状況」を明確にした言語活動が設定されている。 〈具体例〉 Let's Talk (第1学年P.109 ファストフード店で) [依頼する] 目標:ファストフード店で自分の好きなものを注文することができる。 Scene: あなたは,アメリカのファストフード店で昼食を買って帰ることにしました。あなたはどのように注文しますか。	・大きなテーマを扱ったProjectでは,既習表現を活用し,協働して問題解決にあたる活動が設定されている。 〈具体例〉 (第1学年 P.52-P.53,P.96-P.97,P.126-P.127) (第2学年 P.44-P.45,P.88-P.89,P.122-P.123) (第3学年 P.44-P.45,P.90-P.91)	・伝統文化について(第2学年) Unit2 Festivals in the World(長岡まつり大花火大会,祭りを紹介しよう)(P.26-P.28) Unit8 Food Diversity(P.109-P.118) Project1 Sharing Japanese Culture with the world(日本文化について紹介)(P.44-P.45)	・二次元コードによるデジタルコンテンツ音声,本文アニメーション映像,スライドショー映像,解説動画(自己調整機能)など700点以上のデジタルコンテンツを搭載している。
				・伝統文化について(第3学年) Unit2 Passing Down Memories(P.17-P.27)	・CAN-DOリスト「CAN-DO List」が教科書の最後にある。 〈具体例〉 第1学年 5領域別に第1学年の学習到達目標,教科書の関連項目,自己評価チェック欄が一覧になっている。チェック欄は領域ごとに3項目ずつ設定していて,4段階で自己評価する欄を設けている。
				・他教科との関連 第1学年 Unit5 A Fascinating Island in Hawaii【社会】(P.55-P.62) 第2学年 Let's Read1 The Restaurant of Many Orders(注文の多い料理店)【国語】(P.46-P.48), Unit4 Preparing for Natural Disasters(防災・安全)【社会,総合】(P.49-P.58), Unit7 World Heritage Sites(世界遺産)【社会】(P.95-P.104) 第3学年 Unit1 Trick Your Eyes with Art(トリックアート)【美術】(P.5-P.15), Unit2 Passing Down Memories(広島原爆投下)【総合】(P.17-P.27), Unit4 Society for All(ユニバーサルデザイン)【社会,美術】(P.51-P.61)	・付録として英語の歌,英語の学び方等を掲載している。(第1学年P.29,P.32,P.76,P.100,P.123)

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 道徳

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
東書	・「道徳科とは」「道徳科の授業はこんな時間に」において、文章や漫画を用いて、道徳科とはどのような学習なのか、道徳科の学習の進め方について紹介している。(各学年P.4-P.5)	・巻頭には、年度初めに今の気持ちを書き留めておくスペースや、巻末には、学期ごとに道徳科の授業を振り返る「自分の学びを振り返ろう」を設けている。	・著名なマンガの挿絵、デジタルコンテンツ(映像、資料、Webサイト)が豊富である。	・郷土の伝統文化について 第1学年:2教材 第2学年:1教材 第3学年:1教材	・道徳の内容項目は教材のタイトル部分に4色のアイコンで表示し、語句を表記している。
	・最初の教材の終わりに「学習の流れ」を文章や漫画を用いて紹介している。(各学年P.12)	・異なる立場からの意見を取り上げた教材や新聞の意見投書文を活用した教材を掲載している。(第1学年P.107-P.109、第3学年P.33-P.34、P.107-P.109)	・学習した内容を広げたり、深めたりすることができるコラムがある。(第1学年:16本、第2学年:14本、第3学年:18本)	・我が国の伝統文化について 第1学年:1教材 第2学年:2教材 第3学年:1教材	・文章ではなく漫画・イラストを主たる資料とした教材が各学年にある。テーマを考える材料として漫画の1コマ(出版されている漫画)を掲載しているものが各学年にある。
		・各学年において「p4c」の手法を掲載しており、生徒同士で様々な立場の意見を交流する中で考えを深めることができる場面を設定している。(第1学年P.106、第2学年P.92、第3学年P.110)	・若者が知っているような著名人の題材を扱っている。	・教材冒頭に他教科との関連を示すマークを付し、主にどの教科と関連して扱うことができるかを示している。(各教材冒頭右下)	・教材名の下には、デジタルコンテンツにつながる二次元コード等を表示している。
		・各学年において「いじめ問題」、「生命尊重」のテーマについて、複数の教材とコラムをまとめてユニット化している。	・教材によっては、その教材のテーマに沿った漫画の挿絵を設けている。	・二次元コードから教材に関する他教科の教科書紙面が見られる。(第3学年P.36)	・ストーリーに関連する写真が豊富である。
	・各学年の巻末に話し合い活動を円滑にするため「心情円」がついている。		・35時間分の教材以外にも、4つの教材を付録として掲載しており、学校の実態などにも対応できる柔軟性をもたせている。	・内容項目別教材一覧表に関係する主なテーマや、他教科等との関連を一覧にして示してある。(第3学年P.198-P.199)	・色覚や特別支援教育へ配慮したカラーユニバーサルデザインや全ての生徒にとっての読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。
	・教材末に授業で学習したことを広げたり、深めたりするためのコラム「Plus」を設けている。(第1学年:16本、第2学年:14本、第3学年:18本)		・自ら問題を設定し、問題を解決する過程で、道徳性を養う教材が全学年に配置されている。		
	・各教材に「見つめよう」という問いがあり、その教材の内容項目について、自分を振り返る場面を設定している。また、「考えよう」や「見つめよう」の問いをさらに深く考えるための「ぐっと深める」という問いを設定している。		・考えることを明確にするために、各教材の冒頭にテーマを示している。		
			・「考えてみよう」(教材文に沿って考える設問)や「見つめてみよう」(自分を見つめて考える設問)を考えさせ「考えてみよう」や「見つめてみよう」を深めるための設問(問題解決的な発問)である「ぐっと深める」を設定している。		

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 道徳

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
教出	・「さあ、道徳を始めよう！」では、文章や漫画を用いて、道徳科とはどのような学習なのか、道徳科の学習の進め方について紹介している。(各学年P.4-P.66)	・巻末に学期・年度ごとに道徳科の授業を振り返る「道徳科の学びを振り返ろう」、「1年間の道徳科の学びを振り返ろう」を設けている。	・デジタルコンテンツ(教材解説)がある。	・郷土の伝統文化 第1学年:2教材 第2学年:2教材 第3学年:1教材	・道徳の内容項目は教材のタイトル部分に4色のアイコンで表示し,教材名の下には,考えるきっかけを示している。
		・異なる立場からの意見を取り上げた教材や新聞の意見投書文を活用した教材を掲載している。 (第1学年P.22-P.25, 第2学年P.100-P.101, 第3学年P.140-P.141)	・学習した内容を広げたり深めたりすることができるコラム(「ひろば」、「やってみよう」)がある。 (第1学年:9本,第2学年:6本,第3学年:6本)	・我が国の伝統文化 第1学年:1教材 第2学年:1教材 第3学年:2教材	・本文に対するシンプルなイラストと写真がある。
		・各学年において「いじめ等の人権課題」、「持続可能な社会」、「生命の尊さ」のテーマについて、複数の教材とコラムをまとめてユニット化している。	・35時間中5時間分の教材を付録材として掲載しており,学校の実態や地域の教材などに変更できる柔軟性をもたせている。	・内容項目別教材一覧表に関連する教科を示している(第3学年P.192)	・教材名の下には,デジタルコンテンツにつながる二次元コード等を示している。
		・教材末に教材での学びを広げたり深めたりするコラム「ひろば」を設けている。(第1学年:6本, 第2学年:4本, 第3学年:4本)	・学習の見通しをもったり,学習テーマを共有したりするための問いが各教材の冒頭にある。		・色覚や特別支援教育へ配慮したカラーユニバーサルデザインや全ての生徒にとっての読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。
		・各教材末の「学びの道しるべ」に自分事として多面的・多角的に考える問いや自分を振り返り,これからの生き方について考えを深める問いを設定している。	・道徳での学びを日常生活に生かせるような設問を段階的に設定した「学びの道しるべ」がある。		
			・「ひろば」や「やってみよう」は,教材文の内容に関する補足だけでなく学習テーマについてより深く考えるための設問となっている。		

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 道徳

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
光村	・「道徳の学習を始めよう」では、1時間分の教材内で、文章やイラストを用いて、道徳科とはどのような学習なのか、道徳科の学習の進め方、1年間で学ぶ教材について紹介している。(各学年P.6～P.11)	・巻末に年度初めの思いを書いたり、授業ごとや年度終わりに道徳科の授業を振り返ったりする「まなびの記録」を設けている。	・デジタルコンテンツ(写真、動画)がある。	・郷土の伝統文化 第1学年：1教材 第2学年：1教材 第3学年：1教材	・道徳の内容項目は教材のタイトル部分に4色のアイコンで表示し、語句を表記している。
		・異なる立場からの意見を取り上げた教材や新聞の意見投書文を活用した教材を掲載している。(第1学年P.28～P.31、第2学年P.112～P.116、第3学年P.51～P.55)	・学習した内容を広げたり、深めたりすることができるコラムがある。 (第1学年：14本、第2学年：14本、第3学年：15本)	・我が国の伝統文化 第1学年：1教材 第2学年：1教材 第3学年：1教材	・本文のポイントである喜怒哀楽に対応した多面的にとらえたイラストがある。
		・各学年において「問いを立てよう」、「今日の『てつがく』」を掲載しており、生徒同士で様々な立場の意見を交流する中で考えを深めることができる場面を設定している。(第1学年P.38～P.39、P.84、第2学年P.56～P.57、P.84、第3学年P.24～P.25、P.86)	・教材の1つとして、全学年の最初の教材に「道徳の学習を始めよう」という道徳という教科やそのねらい、学習の流れなどが設定されている。	・内容項目教材一覧表に他教科・領域との関わりを示している。(第1学年P.184)	・各教材の1ページ目の右下には、デジタルコンテンツにつながる二次元コード等を示している。
		・各学年において全教材をテーマに分けてユニット化している。	・35時間分の教材以外にも、2つの教材を付録として掲載しており、学校の実態などにも対応できる柔軟性をもたせている。		・他教科との関連を巻末に示している。
		・教材末に教材に関連した内容を解説するコラムを設けている。(第1学年「環境」、「人権」について2本、第2学年「環境」、「人権」について2本、第3学年「環境」、「防災」、「人権」について3本)	・自ら問題を設定し、問題を解決する過程で、道徳性を養う教材が全学年に配置されている。		・漫画スタイルの吹き出しが多く、登場人物の心情を文字とイラストから読み取るスタイルとなっている。
		・各教材に「考えよう」という問いがあり、その教材の内容項目について考える場面を設定している。また、多面的・多角的に考えることができる問い「見方を変えて」や授業で学んだことと日常生活などをつなげる呼びかけや考えをさらに深めるための問い「つなげよう」を設定している。	・各教材にその教材で何を考えていくのかという学習のテーマを示している「考えよう」を設定している。		・色覚や特別支援教育へ配慮したカラーユニバーサルデザインや全ての生徒にとっての読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。
			・各教材ではないが考えをさらに深めるための問いを示している「つなげよう」を設定している。		
			・「学びをプラス」という前教材での学びを生かして、考えていく教材を設定している。		
			・各教材ではないが「考えよう」に示されている問いとは別の立場や視点から考えることができる問いを示している「見方を変えて」を設定している。		

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 道徳

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
日文	・「道徳科での学びを始めよう!」では,文章や漫画を用いて,道徳科とはどのような学習なのか,道徳科の学習の進め方,1年間で学ぶ教材について紹介している。(各学年P.4-P.7)	・別冊「道徳ノート」に各教材の振り返りや学期・年度ごとに道徳科の授業の学びを振り返ることができるページを設けている。	・著名なマンガの挿絵,デジタルコンテンツ(映像,資料,Webサイト)がある。	・郷土の伝統文化 第1学年:2教材 第2学年:1教材 第3学年:1教材	・各教材の1ページ目の右下には,デジタルコンテンツにつながる二次元コード等を示している。
		・異なる立場からの意見を取り上げた教材や新聞の意見投書文を活用した教材を掲載している。 (第1学年P.100-P.102, 第2学年P.136-P.138, 第3学年P.136-P.138)	・学習した内容を広げたり,深めたりすることができるコラムがある。 (第1学年:14本,第2学年:12本,第3学年:13本)	・我が国の伝統文化 第1学年:1教材 第2学年:2教材 第3学年:1教材	・道徳の内容項目は教材のタイトル部分に4色のアイコンで表示し,語句を表記している。
		・各学年において「いじめ」「よりよい社会」のテーマについて,複数の教材とコラムをまとめてユニット化している。	・道徳ノートが別冊でついており,教材ごとのワークシートがついている。その中に,道徳の学習を日常生活に生かせるよう,「自分に+1」を設けている。	・各学年の巻末に47都道府県全ての地域の事例を集めたコラムを載せ,日本各地の良さを示している。(第1学年P.170-P.174)	・教材のタイトル部分の下には,主な登場人物のイラスト(写真)が配置されている。
		・各学年において6教材ずつ「学びを深めよう」を掲載し,それぞれの学習過程の中で自分の考えを深める場面を設定している。	・自ら問題を設定し,問題を解決する過程で,道徳性を養う教材が全学年に配置されている。	・内容項目別教材一覧表に他教科との関連を示している。(第1学年P.176)	・他教科との関連を巻末に示している。
		・教材末には教材に関する話題を扱うことより深く考えられるようにするコラム「視野を広げて」を各学年7本ずつ設けている。	・考えることを明確にするために,各教材の冒頭にテーマを示している。		・漫画化した読み物教材が配置されている。
		・各教材に「自分に+1」という問いがあり,その教材の内容項目を自分との関わりで理解し,これからの自身の生き方について,考える場面を設定している。	・各教材に考えたり,議論したりできる設問「考えてみよう」を設定している。		・色覚や特別支援教育へ配慮したカラーユニバーサルデザインや全ての生徒にとっての読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。
			・各教材に自分を見つめたり,学んだことを自分の生活に生かすための設問「自分に+1」を設定している。		

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 道徳

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
学研	・「道徳科で学ぶこと考えること」では、文章やイラストを用いて、道徳科とはどのような学習なのかや、道徳科の学習の進め方について紹介している。(各学年P.8-P.9)	・巻頭には、年度初めに「今、気になっていること、夢中になっていること」を書き留めておくスペースや、巻末には、学期ごとに道徳科の授業を振り返る「学びの記録」や日々の授業について気付きを記入する「学びのメモ」を設けている。	・デジタルコンテンツ(映像、資料、Webサイト)がある。	・郷土の伝統文化 第1学年:1教材 第2学年:1教材 第3学年:1教材	・教材名の下には、デジタルコンテンツにつながる二次元コード等を示している。
		・各学年において「SDGs」、「多様性」、「キャリア」のテーマについて、複数の教材とコラムをまとめてユニット化している。	・学習した内容を広げたり、深めたりすることができるコラムがある。 (第1学年:25本、第2学年:23本、第3学年:22本)	・我が国の伝統文化 第1学年:1教材 第2年:1教材 第3学年:1教材	・道徳の内容項目は教材のタイトル部分に4色のアイコンで表示し、教材名の下には、考えるきっかけを示している。
		・異なる立場からの意見を取り上げた教材や新聞の意見投書文を活用した教材を掲載している。 (第3学年P.82-P.85、P144-P.146、P148-P.153)	・自ら問題を設定し、問題を解決する過程で、道徳性を養う教材が各学年に配置されている。	・見開き2ページに渡り、「さまざまなテーマで学ぼう」で他領域との関わりが示してある。 (第3学年P.2-P.3)	・教材で学習した内容に関連したコラムを「クローズアップ」として設定している。
		・各学年において、「深めよう」を掲載し、4つのステップに沿って、教材の内容や内容項目について深く考える場面を設定している。(第1学年:7箇所、第2学年:6箇所、第3学年:6箇所)	・各教材に自分の今後の生活にどのように生かしていくのかを問うような設問を設定している。		・本文の物語が漫画化された教材が各学年にある。
		・教材末には「教材の内容項目に則した関連情報」、「多様な意見」、「内容項目が異なる視点からの関連情報」をまとめている特設ページ「クローズアップ」を設け、多面的・多角的に考える場面を設定している。(第1学年:18箇所、第2学年:17箇所、第3学年:16箇所)	・全ての教材ではないが、教材を通して学んだことを深めるためのワークシートがある。		・色覚や特別支援教育へ配慮したカラーユニバーサルデザインや全ての生徒にとっての読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。
		・各教材に自分の生き方に向き合うきっかけとなる問い「考えよう」を設定している。			

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 道徳

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力,判断力,表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り,理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
あか図	・「道徳科の時間は、『自分を見つめ,考え,生きる』時間」では,文章やイラストを用いて,道徳科とはどのような学習なのか,道徳科の学習の進め方について紹介している。(各学年P.2-3)	・巻末に学期・年度ごとに道徳科の授業を振り返る「学習の記録」「1年間の学習の記録」を設けている。	・著名なマンガの挿絵,デジタルコンテンツ(映像,資料,Webサイト)がある。	・郷土の伝統文化 第1学年:1教材 第2学年:1教材 第3学年:2教材	・道徳の内容項目は教材のタイトル部分に4色のアイコンで表示している。
		・第1学年は「いじめ防止」,「情報モラル」,「キャリア形成」,第2・3学年は「いじめ防止」,「情報モラル」,「キャリア形成」,「共生社会」のテーマについて,複数の教材とコラムをまとめてユニット化している。	・学習した内容を広げたり深めたりすることができるコラムがある。 (第1学年:11本,第2学年:10本,第3学年:9本)	・我が国の伝統文化 第1学年:1教材 第2学年:2教材 第3学年:1教材	・教材名の下には,デジタルコンテンツにつながる二次元コード等を示している。
		・各学年において,3つの教材に「マイ・プラス」を掲載し,生徒がいろいろな立場に立って想像したり考えたりできる場面を設定している。	・教材の1つとして,全学年の最初の教材に「道徳はじまりの時間」という,道徳という教科やそのねらい,学習の流れなどが設定されている。	・内容項目別教材一覧のページを設け,現代的な課題等との関わりや他教科・領域との関わりを示している。(第1学年P.184)	・他教科との関連を巻末に示している。
		・異なる立場からの意見を取り上げた教材や新聞の意見投書文を活用した教材を掲載している。 (第3学年P.38-P.41, P.88-P.90)	・自ら問題を設定し,問題を解決する過程で,道徳性を養う教材が全学年に配置されている。		・色覚や特別支援教育へ配慮したカラーユニバーサルデザインや全ての生徒にとっての読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。
		・教材末や巻末付録には,コラム「Thinking」を掲載し,教材で学習した内容を深め,広げる場面を設定している。(第1学年:10本,第2学年:9本,第3学年:8本)	・各教材の設問に対して,考える視点を明確にしている。		
		・各教材に,教材から感じたことを見つめ,主体的な学びを促す問い「自分を見つめて考える」,または様々な視点を投げかけ,対話的な学びを促す問い「いろいろな見方で考える」を設定している。また,全ての教材に共通して,道徳的な価値に照らしてさらに考えたり話し合ったりする問い「考えを深める」や教材での学びを踏まえて,自分自身や道徳的価値について問い直す問い「自分との対話」を設定している。	・各教材ではないが,教材のテーマを追求するための問題解決的な設問が設定されている。		
			・各教材に自分自身の今後の生活に生かしていくための設問「自分との対話」が設定されている。		

令和7年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

種目 道徳

	観点1 知識及び技能の習得	観点2 思考力、判断力、表現力等の育成	観点3 主体的に学習に取り組む工夫	観点4 内容の構成・配列・分量	観点5 内容の表現・表記
	○知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫	○教科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫	○単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を展開するための工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記
日科	・「クラスのみんなと『道徳授業』を創り出そう」では、文章やイラスト、写真を用いて、道徳科の学習の進め方について紹介している。また、第1学年のみ「道徳の授業ってどんなもの」も掲載している。(各学年P.4-P.5)	・自分の考えを引き出したり、自己理解や他者理解を進めたりするために、巻末に切り取り式の「ウェルビーイングカード」があり、「ウェルビーイングカードマーク」がついている教材において、そのカードを活用する場面を設定している。(第1学年:19教材、第2学年:11教材、第3学年:13教材)	・デジタルコンテンツ(映像、資料、Webサイト)がある。	・郷土の伝統文化 第1学年:1教材 第2学年:1教材 第3学年:1教材	・道徳の内容項目は教材のタイトル部分に4色のアイコンで表示している。
		・異なる立場からの意見を取り上げた教材を掲載している。(第1学年P.16-P.17、P.65-P.68、P.82-P.83、P.132-P.135)	・学習した内容を広げたり、深めたりすることができるコラムがない。	・我が国の伝統文化について 第1学年:2教材 第2学年:1教材 第3学年:1教材	・教材名の下には、デジタルコンテンツにつながる二次元コード等を示している。
		・各学年において哲学的思考活用した教材を取り入れ、人間としてどう生きるかを深く考える場面を設定している。(第1学年P.36-P.40、第2学年P.34-P.38、第3学年P.44-P.48)	・自ら問題を設定し、問題を解決する過程で道徳性を養う教材が全学年に配置されている。	・さまざまなテーマから考えを深めることができるように教材をテーマ別に分けて一覧にしている。(第2学年P.2-P.3)	・四つの視点ごとに内容項目順に教材が配置されている。各視点ごとの扉には、導入として四コマ漫画が配置されている。
		・各教材に「考えよう」、「深めよう」の問いがあり、自分の考えを深める場面を設定している。	・各教材に自分を見つめたり、学んだことを自分の生活に生かすための設問「深めよう」を設定している。		・色覚や特別支援教育へ配慮したカラーユニバーサルデザインや全ての生徒にとっての読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。